

注3

**大学番号：031**

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

電気通信大学大学院 情報理工学研究科  
情報学専攻（博士後期課程）

注2

**【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人 電気通信大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	総務課企画戦略係		
職名・氏名	係長	ハンドウ	ジュンジ
		飯 銅	純 二
電話番号	042-443-5050		
（夜間）	042-443-5050		
F A X	042-443-5010		
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
 ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

情報理工学研究科

<情報学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フクダ タカシ) 福田 喬 (平成26年4月1日)		
研究科長	(ホンジョウ カズヒコ) 本城 和彦 (平成27年4月1日)	(タノ シュンイチ) 田野 俊一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)
専攻長	(ニシノ テツロウ) 西野 哲朗 (平成28年4月1日)	<del>(ヨシウラ ヒロシ)</del> <del>吉浦 裕</del> <del>(平成29年4月1日)</del> (カシハラ アキヒロ) 柏原 昭博 (平成30年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)  任期満了に伴う交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	收容定員	
情報理工学研究科 情報学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)(理学)(学術)	工学関係  理学関係	3年	18人	54人	基礎となる学部等  情報理工学域

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	13 ( - ) [ - ]	人 人	13 ( - ) [ - ]	人 人	13 ( - ) [ - ]	人 人			1.17 倍	
志願者数	12 ( 4 ) [ 2 ]	3 ( 3 ) [ - ]	18 ( 3 ) [ 5 ]	7 ( 6 ) [ - ]	7 ( 1 ) [ - ]	( ) [ ]				
受験者数	12 ( 4 ) [ 2 ]	3 ( 3 ) [ - ]	18 ( 3 ) [ 5 ]	7 ( 6 ) [ - ]	7 ( 1 ) [ - ]	( ) [ ]				
合格者数	11 ( 3 ) [ 2 ]	3 ( 3 ) [ - ]	18 ( 3 ) [ 5 ]	7 ( 6 ) [ - ]	7 ( 1 ) [ - ]	( ) [ ]				
B 入学者数	11 ( 3 ) [ 2 ]	3 ( 3 ) [ - ]	18 ( 3 ) [ 5 ]	7 ( 6 ) [ - ]	7 ( 1 ) [ - ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	1.07		1.92		0.53					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	11 [ 3 ] ( - )	3 [ 0 ] ( - )	18 [ 5 ] ( - )	1 [ 0 ] ( - )	7 [ 0 ] ( - )	7 [ 0 ] ( - )	
2年次	/		10 [ 2 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	17 [ 4 ] ( - )	1 [ 0 ] ( - )	
3年次			/				8 [ 2 ] ( - )
計	14 [ 3 ] ( - )				29 [ 7 ] ( - )		40 [ 6 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	14人	3人	平成28年度	3人	1人	仕事上の都合(2人)、その他(1人)
平成29年度	29人	1人	平成28年度	0人	0人	授業料未納(1人)
			平成29年度	1人	1人	
平成30年度	40人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	83人	4人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{29} = \boxed{3.44} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 情報学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2			1					兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1				
	現代社会と倫理	1・2・3後	2			1					
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					
	幾何学特論	1・2・3後	2			1					
	解析学特論	1・2・3後	2				1				
	代数学特論	1・2・3後	2				1				
教育学特論	1・2・3後	2			1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			26	22				
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2				1				
	知的財産権特論	1・2・3後	2			1					
	先端技術開発特論	1・2・3後	2			1					
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2			2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1						1		
	IT最前線	1・2・3後	2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2								兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1				
	現代社会と倫理	1・2・3後	2				0				兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					兼15
	幾何学特論	1・2・3後	2			1					
	解析学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2				1	0			
	代数学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2					1			
教育学特論	1・2・3後	2			1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4				23	19			兼4
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2				1	0			兼4
	知的財産権特論	1・2・3後	2			1					兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後	2			1					兼15
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2			2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1					1	0		兼2
	IT最前線	1・2・3後	2			1					兼1
データサイエンス特論	1・2・3後	2				1					
データアナリティクス実践特論	1・2・3後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目												
専門科目Ⅱ	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2		1						
	視覚情報処理特論	1・2・3後		2			1					
	コミュニケーション論特論	1・2・3後		2			1					
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
	インタラクティブシステム特論	1・2・3前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2		1				
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1				1				
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2				1				
大学院専門教育科目	専門科目Ⅰ											
	現代代数学	1・2・3後(隔年開講)		2				1				
	数理解析学	1・2・3後(隔年開講)		2				1				
専門科目Ⅱ	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1	0				
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2		1						
	学習工学特論	1・2・3前		2			1					
	視覚情報処理特論	1・2・3後		2				1				
	コミュニケーション論特論	1・2・3後		2				1				
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
	インタラクティブシステム特論	1・2・3後		2			1	0				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								兼1
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3前		2		1						
	サービス・サイエンス特論	1・2・3前		2		1						
	金融工学特論	1・2・3前		2								兼1
	生体システム工学特論	1・2・3後		2		1						
	経営システム工学特論	1・2・3前		2								兼1
	言語認知システム特論	1・2・3前		2		1						
	人間工学特論	1・2・3後		2			1					
	生産システム特論	1・2・3後		2		1						
	システム信頼性特論	1・2・3前		2		1						
	コンテンツセキュリティ特論	1・2・3前		2		1						
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					
	離散情報構造特論	1・2・3後		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1					
	暗号理論特論	1・2・3後		2		1						
	創造的情報メディア論	1・2・3前		2		1						
	インテリジェントシステム特論	1・2・3後		2			1					
	対話型システム特論	1・2・3後		2		1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3前		2			1					
	ロボットソフトウェア特論	1・2・3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								兼1
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3前		2		1						
	サービス・サイエンス特論	1・2・3前		2		1						
	金融工学特論	1・2・3前		2								兼1
	生体システム工学特論	1・2・3後		2		1						
	経営システム工学特論	1・2・3前		2								兼1
	言語認知システム特論	1・2・3前		2		1						
	人間工学特論	1・2・3後		2			1					
	生産システム特論	1・2・3後		2		1						
	システム信頼性特論	1・2・3前		2		1						
	コンテンツセキュリティ特論	1・2・3前		2		1						
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					
	離散情報構造特論	1・2・3後		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1					0
	暗号理論特論	1・2・3後		2			0	1				
	創造的情報メディア論	1・2・3前		2		1						
	インテリジェントシステム特論	1・2・3後		2			1					
	対話型システム特論	1・2・3後		2		1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3前		2			1					
	ロボットソフトウェア特論	1・2・3前		2		1						

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	知能ロボ ティクス 特論	1・2・ 3後		2			1					
	システム 設計特論 1	1・2・ 3後		2		1						
	システム 設計特論 2	1・2・ 3前		2			1					
	人工知能 と複雑 ネット ワーク	1・2・ 3前		2		1						
	時空間情 報科学特 論	1・2・ 3後		2			1					
	リスクマ ネジメン ト論	1・2・ 3前		2		1						
	ゲーム理 論	1・2・ 3後		2			1					
	ネット ワーク アーキテ クチャ論	1・2・ 3前		2		1						
	コン ピュータ ネット ワーク特 論	1・2・ 3後		2			1					
科上専 目級門	情報学特 論	1・2・ 3前	2			26	22					

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	知能ロボ ティクス 特論	1・2・ 3後		2				1				
	システム 設計特論 1	1・2・ 3後		2			1					
	システム 設計特論 2	1・2・ 3前		2				1				
	人工知能 と複雑 ネット ワーク	1・2・ 3前		2								兼1
	時空間情 報科学特 論	1・2・ 3後		2				1				
	リスクマ ネジメン ト論	1・2・ 3前		2			1					
	ゲーム理 論	1・2・ 3後		2				1				
	ネット ワーク アーキテ クチャ論	1・2・ 3前		2			1					
	コン ピュータ ネット ワーク特 論	1・2・ 3後		2				1				
科上専 目級門	情報学特 論	1・2・ 3前	2					23	19			兼4

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2			1					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1				
	現代社会と倫理	1・2・3後	2			1					
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					兼15
	幾何学特論	1・2・3後	2			1					
	解析学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2			1	0				
	代数学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2				1				
教育学特論	1・2・3後	2			1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1~3通	4			27	17		1		兼4
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2			1	0				兼6
	知的財産権特論	1・2・3後	2			1					兼8
	先端技術開発特論	1・2・3後	2			1					兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2			2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1						1		兼2
	IT最前線	1・2・3後	2			1					兼1
	データサイエンス特論	1・2・3後	2						1		
データアントレプレナー実践論	1・2・3後	2						1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2								
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1				
	現代社会と倫理	1・2・3後	2			1					兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					兼15
	幾何学特論	1・2・3後	2			1					
	解析学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2			1	0				
	代数学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2				1				
教育学特論	1・2・3後	2			1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1~3通	4			25	20		0		兼4
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2			1	0				兼4
	知的財産権特論	1・2・3後	2			1					兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後	2			1					兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2			2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1						1		兼2
	IT最前線	1・2・3後	2			1					兼1
	データサイエンス特論	1・2・3後	2						1		
データアントレプレナー実践論	1・2・3後	2						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目	専門科目Ⅰ											
	現代代数 数理解析	1・2・3後(隔年開講) 1・2・3後(隔年開講)		2 2			1 1					
専門科目Ⅱ	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2		1						
	学習工学特論	1・2・3前		2		1						
	視覚情報処理特論	1・2・3後		2			1					
	コミュニケーション論特論	1・2・3後		2			1					
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
インタラクティブシステム特論	1・2・3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1				1				
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2				1				
大学院専門教育科目	専門科目Ⅰ											
	現代代数 数理解析	1・2・3後(隔年開講) 1・2・3後(隔年開講)		2 2			1 1					
専門科目Ⅱ	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2		1						
	学習工学特論	1・2・3前		2		1						
	視覚情報処理特論	1・2・3後		2			1					
	コミュニケーション論特論	1・2・3後		2			1					
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
インタラクティブシステム特論	1・2・3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								兼1
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3前		2		1						
	サービス・サイエンス特論	1・2・3前		2		1						
	金融工学特論	1・2・3前		2							兼1	
	生体システム工学特論	1・2・3後		2		1						
	経営システム工学特論	1・2・3前		2							兼1	
	言語認知システム特論	1・2・3前		2		1						
	人間工学特論	1・2・3後		2			1					
	生産システム特論	1・2・3後		2		1						
	システム信頼性特論	1・2・3前		2		1						
	コンテンツセキュリティ特論	1・2・3前		2		1						
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					
専門科目Ⅱ	離散情報構造特論	1・2・3後		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3前		2			0					兼1
	暗号理論特論	1・2・3後		2		1						
	創造的情報メディア論	1・2・3前		2		1						
	インテリジェントシステム特論	1・2・3後		2			1					
	対話型システム特論	1・2・3後		2		1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3前		2			1					
	ロボットソフトウェア特論	1・2・3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								兼1
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3前		2		1						
	サービス・サイエンス特論	1・2・3前		2		1						
	金融工学特論	1・2・3前		2							兼1	
	生体システム工学特論	1・2・3後		2		1						
	経営システム工学特論	1・2・3前		2							兼1	
	言語認知システム特論	1・2・3前		2		1						
	人間工学特論	1・2・3後		2			1					
	生産システム特論	1・2・3後		2		1						
	システム信頼性特論	1・2・3前		2		1						
	コンテンツセキュリティ特論	1・2・3前		2		1						
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					
専門科目Ⅱ	離散情報構造特論	1・2・3後		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			0					0
	暗号理論特論	1・2・3後		2		1						
	創造的情報メディア論	1・2・3前		2		1						
	インテリジェントシステム特論	1・2・3後		2			1					
	対話型システム特論	1・2・3後		2		1						
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3前		2			1					
ロボットソフトウェア特論	1・2・3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	知能ロボティクス特論	1・2・3後		2			1					
	システム設計特論1	1・2・3後		2		1						
	システム設計特論2	1・2・3前		2			1					
	人工知能と複雑ネットワーク	1・2・3前		2		1						
	時空間情報科学特論	1・2・3後		2			1					
	リスクマネジメント論	1・2・3前		2		1						
	ゲーム理論	1・2・3後		2			1					
	ネットワークアーキテクチャ論	1・2・3前		2		1						
	コンピュータネットワーク特論	1・2・3後		2			1					
科上専 目級門	情報学特論	1・2・3前	2			27	17		1			兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	知能ロボティクス特論	1・2・3後		2			1					
	システム設計特論1	1・2・3後		2		1						
	システム設計特論2	1・2・3前		2			1					
	人工知能と複雑ネットワーク	1・2・3前		2		1						
	時空間情報科学特論	1・2・3後		2			1					
	リスクマネジメント論	1・2・3前		2		1						
	ゲーム理論	1・2・3後		2			1					
	ネットワークアーキテクチャ論	1・2・3前		2		1						
	コンピュータネットワーク特論	1・2・3後		2			1					
科上専 目級門	情報学特論	1・2・3前	2			25	20		0			兼4

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「環太平洋圏の社会と文化」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「解析学特論」：バランスのとれた学習機会提供のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。教員の昇任に伴い、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「代数学特論」：バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授26、准教授22」から「教授27、准教授17、助教1、兼任教員4、兼任教員4」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、兼任教員6」に変更。
- ・「知的財産権特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員8」に変更。
- ・「先端技術開発特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「経営実践特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「助教1」から「助教1、兼任教員2」に変更。
- ・「IT最前線」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅢ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅣ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅤ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「現代代数学」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「数理解析学」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「学習工学特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「ソフトウェアセキュリティ特論」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任教員1」に変更し、開講学期を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「情報学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授26、准教授22」から「教員27、准教授17、助教1、兼任教員4」に変更。

【平成29年度】

- ・「現代社会と倫理」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授27、准教授17、助教1、兼任教員4」から「教授25、准教授20、兼任教員4」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員6」から「教授1、兼任教員4」に変更。
- ・「知的財産権特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員8」から「教授1、兼任教員7」に変更。
- ・「データサイエンティスト特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「データアントプレナー実践論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院インターンシップ」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外）」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（長期）」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外・長期）」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院海外語学研修Ⅰ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院海外語学研修Ⅱ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「ソフトウェアセキュリティ特論」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「兼任教員1」から「准教授1」に変更し、配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・「情報学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授27、准教授17、助教1、兼任教員4」から「教授25、准教授20、兼任教員4」に変更。

【平成30年度】

- ・「国際社会の政治・経済」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格首都苦労に伴い、専任教員等の配置を「教授25、准教授20、兼任教員4」から「教授23、准教授19、兼任教員4」に変更。
- ・「認知科学特論」：担当教員昇任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「インタラクティブシステム特論」：担当教員昇任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。教員の負担軽減のため、配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・「暗号理論特論」：教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「人工知能と複雑ネットワーク」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「情報学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授25、准教授20、兼任教員4」から「教授23、准教授19、兼任教員4」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	60 科目	0 科目	62 科目	2 科目 [ 0 ]	67 科目 [ 7 ]	0 科目 [ 0 ]	69 科目 [ 7 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{62} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と別地（校舎から2km）					
	校舎敷地	115,433 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,433 m <sup>2</sup>						
	運動場用地	38,187 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	38,187 m <sup>2</sup>						
	小 計	153,620 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	153,620 m <sup>2</sup>						
	そ の 他	34,685 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	34,685 m <sup>2</sup>						
	合 計	188,305 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	188,305 m <sup>2</sup>						
(2) 校舎	専 用	90,163 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	90,163 m <sup>2</sup>						
	( 90,163 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 90,163 m <sup>2</sup> )							
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設						
	0 室	25 室	35 室	4 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	情報理工学研究科 情報学専攻（博士後期課程）			74 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]					点	点	点
		情報理工学域 I 類（情報系）	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>					3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 <del>( 0 )</del> ( 0 )
計	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 <del>( 0 )</del> ( 0 )	0 <del>( 0 )</del> ( 0 )					
面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体					
7,323 m <sup>2</sup>	669		368,000								
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	3,077 m <sup>2</sup>		多摩川運動場（陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート4面、アーチェリー場）、プール、屋外競技場（弓道場、テニスコート7面）								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報理工学域									
I類(情報系)	4	210	3年次9	858	学士(工学)	1.04	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめた状況を記載している。
II類(融合系)	4	245	3年次10	1000	学士(工学)	1.04	平成28年度	同上	
III類(理工系)	4	235	3年次10	960	学士(工学)	1.04	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程(夜間主)	4	30	3年次3	126	学士(工学)	1.00	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程(夜間主)	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科(博士前期課程)									
情報学専攻	2	110	-	220	修士(工学)(理学)(学術)	1.16	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士(工学)(理学)(学術)	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士(工学)(理学)(学術)	1.06	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士(工学)(理学)(学術)	0.99	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止

情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学)(学術)	1.17	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				
情報・ネットワーク 工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学)(学術)	0.70	平成28年度	同上				
機械知能システム学 専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学)(学術)	1.02	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学)(学術)	0.66	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報・通信工学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学研究所 情報学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			【平成31年度】				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名		
専	教授	板倉直明 (54) <平成28年4月> 生体システム工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	板倉直明 (54) <平成28年4月> 生体システム工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	板倉直明 (55) <平成28年4月> 生体システム工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	板倉直明 (56) <平成28年4月> 生体システム工学特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	内海彰 (50) <平成28年4月> 言語認知システム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	内海彰 (50) <平成28年4月> 言語認知システム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	内海彰 (51) <平成28年4月> 言語認知システム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	内海彰 (52) <平成28年4月> 言語認知システム特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	大須賀昭彦 (57) <平成28年4月> システム設計特論1 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	大須賀昭彦 (57) <平成28年4月> システム設計特論1 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	大須賀昭彦 (58) <平成28年4月> システム設計特論1 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	大須賀昭彦 (59) <平成28年4月> システム設計特論1 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	柏原昭博 (51) <平成28年4月> 学習工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	柏原昭博 (51) <平成28年4月> 学習工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	柏原昭博 (52) <平成28年4月> 学習工学特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	柏原昭博 (53) <平成28年4月> 学習工学特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	兼子正勝 (62) <平成28年4月> メディア論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	兼子正勝 (62) <平成28年4月> メディア論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	兼子正勝 (63) <平成28年4月> メディア論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	兼子正勝 (64) <平成28年4月> メディア論特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	栗原聡 (49) <平成28年4月> 人工知能と複雑ネットワーク 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	栗原聡 (50) <平成28年4月> 人工知能と複雑ネットワーク 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	栗原聡 (51) <平成28年4月> 人工知能と複雑ネットワーク 大学院輪講第二 情報学特論								
専	教授	坂本真樹 (46) <平成28年4月> 認知プロセス論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	坂本真樹 (46) <平成28年4月> 認知プロセス論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	坂本真樹 (47) <平成28年4月> 認知プロセス論特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	坂本真樹 (48) <平成28年4月> 認知プロセス論特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	庄野逸 (47) <平成28年4月> 大学院インターンシップ 大学院インターンシップ(海外) 大学院インターンシップ(長期) 大学院インターンシップ(海外・長期) 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	庄野逸 (47) <平成28年4月> 大学院インターンシップ 大学院インターンシップ(海外) 大学院インターンシップ(長期) 大学院インターンシップ(海外・長期) 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	庄野逸 (48) <平成28年4月> 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	庄野逸 (49) <平成28年4月> 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	末廣尚士 (60) <平成28年4月> ロボットソフトウェア特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	末廣尚士 (60) <平成28年4月> ロボットソフトウェア特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	末廣尚士 (61) <平成28年4月> ロボットソフトウェア特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	末廣尚士 (62) <平成28年4月> ロボットソフトウェア特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	高玉圭樹 (46) <平成28年4月> マルチエージェントシステム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	高玉圭樹 (46) <平成28年4月> マルチエージェントシステム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	高玉圭樹 (47) <平成28年4月> マルチエージェントシステム特論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	高玉圭樹 (48) <平成28年4月> マルチエージェントシステム特論 大学院輪講第二 情報学特論					
専	教授	高橋治久 (64) <平成28年4月> 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	高橋治久 (64) <平成28年4月> 大学院輪講第二 情報学特論											
専	教授	田中健次 (59) <平成28年4月> システム信頼性特論 リスクマネジメント論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	田中健次 (59) <平成28年4月> システム信頼性特論 リスクマネジメント論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	田中健次 (60) <平成28年4月> システム信頼性特論 リスクマネジメント論 大学院輪講第二 情報学特論	専	教授	田中健次 (61) <平成28年4月> システム信頼性特論 リスクマネジメント論 大学院輪講第二 情報学特論					













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大山 恵弘 (50) <平成28年4月> ヒューマンインターフェース 特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	栗原 聡 (52) <平成28年4月> 人工知能と複雑ネットワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

- (注)
- 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

- ・高橋治久教授辞任により、他の専任教員に変更。
- ・平成29年4月水野純太准教授就任。
- ・市川晴久教授辞任により、他の専任教員に変更。

【平成30年度】

- ・栗原聡教授辞任により、兼任講師に変更。
- ・平成30年4月清誠一准教授就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
9 名	6 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
23	22	0	1	46	24	28	0	1	53	24	28	0	1	53
(23)	(24)	(0)	(1)	(47)						[ 1 ]	[ 6 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 7 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
37	9	0			42	11	0			42	11	0		
(39)	(8)	(0)								[ 5 ]	[ 2 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、  
**完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{53}{46} = \boxed{115.21} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	栗原 聡	選択	人工知能と複雑ネットワーク	②	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)	
			必修	大学院輪講第二	①		
			必修	情報学特論	①		
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	2 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	2 科目	計	1 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{46} = 2.17 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		後任補充状況	辞任等の理由							
			必修	選択・自由									
1	教授	高橋 治久	必修	大学院輪講第二	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)							
			必修	情報学特論	①								
2	教授	市川 晴久	必修	大学院輪講第二	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)							
			必修	情報学特論	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	該当なし	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 情報学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学教育センター教育推進部門が中心となり、教育の質の改善・向上に向けた取組を実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>大学教育センター教育推進部門会議（平成29年度）</p> <p>第47回（5月9日：参加者 7名）</p> <p>第48回（10月10日：参加者 9名）</p> <p>第49回（2月22日：参加者 8名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) ファカルティ・ディベロップメントの実施に関すること</p> <p>(2) 学生授業評価の実施に関すること</p> <p>(3) シラバス及び成績評価に関すること</p> <p>(4) 教育環境の整備に関すること</p> <p>(5) その他、教育に関わる調査の実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ TA講習会</li><li>・ 大学院新任教育系職員研修会</li><li>・ FD研修会</li><li>・ ハラスメント防止研修</li><li>・ FD講演会</li></ul> <p style="text-align: center;">等</p> <p>b 実施方法</p> <p>大学教育センター教育推進部門を中心として、全学的なファカルティ・ディベロップメント講演会、公開授業参観、授業評価アンケート等に関するワークショップ等に取り組んでいる。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 4月6日：第1回TA講習会 参加者253名（学生243名、教員10名）</li><li>・ 4月14日：大学院新任教育系職員研修会 参加者 9名</li><li>・ 4月18日：FD数学、物理、化学、情報、基礎学力検討会 参加者 27名</li><li>・ 4月24日：研究授業・授業検討会：『基礎磁気学および演習』 参加者 10名</li></ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



- ・ 6月24日：学部技術英語FD研修会  
参加者 14名
- ・ 7月25日：ハラスメント防止研修  
参加者 50名
- ・ 9月5日：実験実習研修会  
参加者 44名
- ・ 9月19日：第2回TA講習会  
参加者 54名（学生48名、教員 6名）
- ・ 9月28日：コーチングから学ぶコミュニケーションスキル  
参加者 41名
- ・ 10月30日：第1回FD講演会「大学の国際連携の動向」ーグローバルな視点での大学教育の連携、展開ー  
参加者 44名
- ・ 11月8日：障害学生支援に係るFD研修  
参加者 52名
- ・ 11月17日：第2回FD講演会「ICT教材開発とその運用」  
参加者 34名
- ・ 12月12日：LGBTを理解するための研修  
参加者 68名
- ・ 1月31日：役員情報セキュリティ研修  
参加者 15名
- ・ 2月19日：情報セキュリティ研修  
参加者 82名
- ・ 2月21日：初等・中等教育の現状と本学における情報教育の取り組み  
参加者201名
- ・ 3月7日：メンタルヘルス懇談会・障害学生支援に係るFD研修  
参加者 77名
- ・ 3月8日：学生とのコミュニケーションについて考える  
参加者 55名
- ・ 3月15日：キャリア教育部会報告会  
参加者 23名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育改善調査の実施及び各種研修プログラムの提供について、第3期中期目標・中期計画を踏まえた道筋の検討を進めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期及び後学期の終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を教員にフィードバックすることにより、自主的な授業の改善を促しているほか、他の教員の参考となるように、アンケートの総合評価が高かった科目の中で科目区分（講義、実験、体育、大学院）別に上位10%のものについて、大学教育センターの学内専用ウェブサイトで公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に基づき、平成28年4月1日に開設した。「広い視野と倫理観を持ち、グローバル社会で活躍できる確かな専門知識と実践的な応用力を持ち、リーダーとして企画・開発をも担える高度専門技術者を育成する」という設置の趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年7月公開予定

b 公表方法

「自己点検・評価報告書（年度計画の実施状況）」を大学ホームページで公表予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成33（2021）年に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月30日 )

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

**大学番号：031**

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

電気通信大学大学院 情報理工学研究科  
情報・ネットワーク工学専攻（博士後期課程）

注2

**【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人 電気通信大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務課企画戦略係
職名・氏名	係長 <small>ハンドウ</small> 飯 銅 <small>ジュンジ</small> 純 二
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
 ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

情報理工学研究科

<情報・ネットワーク工学専攻（博士後期課程）>		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	3
2. 授業科目の概要	.....	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	.....	19
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	.....	20
5. 教員組織の状況	.....	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	.....	35
7. その他全般的事項	.....	36

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フクダ タカシ) 福田 喬 (平成26年4月1日)		
研究科長	(ホンジョウ カズヒコ) 本城 和彦 (平成27年4月1日)	(タノ シュンイチ) 田野 俊一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)
専攻長	(ナカタニ ヨシノブ) 仲谷 栄伸 (平成28年4月1日)	<del>(チヨウキ)</del> <del>張 熙</del> <del>(平成29年4月1日)</del> (ミナミ ヤスヒロ) 南 泰浩 (平成30年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)  任期満了に伴う交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	收容定員	
情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻(博士後期課程) 博士(工学)(理学)(学術)	工学関係 理学関係	3年	18人	54人	基礎となる学部等 情報理工学域

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	18 ( - ) [ - ]	人 人	18 ( - ) [ - ]	人 人	18 ( - ) [ - ]	人 人			0.70 倍	
志願者数	11 ( 4 ) [ 2 ]	7 ( 6 ) [ 1 ]	6 ( 2 ) [ 3 ]	6 ( 3 ) [ 3 ]	9 ( 3 ) [ 2 ]	人 人				
受験者数	11 ( 4 ) [ 2 ]	7 ( 6 ) [ 1 ]	6 ( 2 ) [ 3 ]	6 ( 3 ) [ 3 ]	9 ( 3 ) [ 2 ]	人 人				
合格者数	11 ( 4 ) [ 2 ]	7 ( 6 ) [ 1 ]	6 ( 2 ) [ 3 ]	6 ( 3 ) [ 3 ]	8 ( 3 ) [ 2 ]	人 人				
B 入学者数	11 ( 4 ) [ 2 ]	7 ( 6 ) [ 1 ]	6 ( 2 ) [ 3 ]	6 ( 3 ) [ 3 ]	8 ( 3 ) [ 2 ]	人 人				
入学定員超過率 B/A	1		0.66		0.44					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	11 [ 2 ] ( - )	7 [ 1 ] ( - )	6 [ 3 ] ( - )	7 [ 1 ] ( - )	8 [ 2 ]	6 [ 3 ]	
2年次	/		11 [ 2 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	6 [ 4 ] ( - )	6 [ 1 ] ( - )	
3年次			/				11 [ 3 ] ( - )
計	18 [ 3 ] ( - )				24 [ 6 ] ( - )		37 [ 13 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	18人	0人	平成28年度	0人	0人	
平成29年度	24人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	37人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	79人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2			1					兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1				
	現代社会と倫理	1・2・3後	2			1					
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					
	幾何学特論	1・2・3後	2			1					
	解析学特論	1・2・3後	2				1				
	代数学特論	1・2・3後	2				1				
教育学特論	1・2・3後	2			1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			36	32				
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2			1					
	知的財産権特論	1・2・3後	2			1					
	先端技術開発特論	1・2・3後	2			1					
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2			2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1						1		
	IT最前線	1・2・3後	2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前	2								兼1	
	国際社会の政治・経済	1・2・3前	2								兼1	
	日本とアジアの近代史	1・2・3後	2								兼1	
	科学技術の歴史	1・2・3後	2				1					
	現代社会と倫理	1・2・3後	2				0				兼1	
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後	2			1					兼15	
	幾何学特論	1・2・3後	2			1						
	解析学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2				1	0				
	代数学特論	1・2・3後 (隔年開講)	2					1				
教育学特論	1・2・3後	2			1							
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4					37	28	1	5	兼4
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2				1	0				兼4
	知的財産権特論	1・2・3後	2				1					兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後	2				1					兼15
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2				2	2				
	経営実践特論	1・2・3前	1					1		0		兼2
	IT最前線	1・2・3後	2				1					兼1
データサイエンス特論	1・2・3後	2				1						
データアナリクス実践特論	1・2・3後	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目	目専 I 門科	連続最適化基礎論		2			1					
	目専 II 門科	集積回路設計特論	1・2・3前		2		2					
		マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2		1					
		環境電磁工学特論	1・2・3前		2		1					
		無線通信システム特論	1・2・3前		2		1	1				
		情報理論特論	1・2・3後		2		1					
		情報光工学特論	1・2・3後		2			1				
		宇宙通信工学特論	1・2・3後		2			1				
		光通信システム特論	1・2・3後		2			1				
		センシング工学特論	1・2・3後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2		1				
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2			0	1				
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4			0	1				
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1				1				
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2				1				
大学院専門教育科目	目専 I 門科	連続最適化基礎論		2				1				
	目専 II 門科	集積回路設計特論	1・2・3前		2		2		1			
		マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2		1					
		環境電磁工学特論	1・2・3前		2		1		1			
		無線通信システム特論	1・2・3前		2			0	2			
		情報理論特論	1・2・3後		2			1				
		情報光工学特論	1・2・3後		2				1			
		宇宙通信工学特論	1・2・3後		2				1			
		光通信システム特論	1・2・3後		2			1				
		センシング工学特論	1・2・3後		2				1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディア信号処理特論	1・2・3前		2				1				
	信号解析学特論	1・2・3前		2			1					
	伝送工学特論	1・2・3前		2			1					
	電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2		2	1					
	生体電磁工学特論	1・2・3後		2			1					
	非線形システム特論	1・2・3後		2			1					
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2							兼1	
	音響システム特論	1・2・3前		2			1					
	知識データ工学特論	1・2・3前		2			1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2・3前		2			1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2			1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2			1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2			1					
	応用解析学特論	1・2・3後		2			1					
	知能情報特論	1・2・3後		2			1					
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2			1					兼1
	計算機構特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1					兼0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディア信号処理特論	1・2・3前		2						1		
	信号解析学特論	1・2・3前		2			1					
	伝送工学特論	1・2・3前		2			1					
	電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2			1	0				
	生体電磁工学特論	1・2・3後		2			1					
	非線形システム特論	1・2・3後		2			1					
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2								兼1
	音響システム特論	1・2・3前		2			1					
	知識データ工学特論	1・2・3前		2			1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2・3前		2			1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2			1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2			1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2			1					
	応用解析学特論	1・2・3後		2			1					
	知能情報特論	1・2・3後		2			1					
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2			1	0				兼1
	計算機構特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3前		2			1					兼0

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						兼1
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								
	情報ネットワーク特論	1・2・3後		2		1						
	ネットワークアプリケーション特論	1・2・3後		2			1					
	ベイズ的人工知能特論	1・2・3前		2		1						
	統計的機械学習特論	1・2・3後		2			1					
	情報幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	量子情報数理論	1・2・3前		2			1					
	ネットワークコンピュータインテグレーション特論	1・2・3前		2			1					
	計算機ネットワーク特論	1・2・3後		2		1						
	情報データ解析論	1・2・3前		2		1						
	データ解析最適化論	1・2・3後		2			1					
	音声対話処理	1・2・3後		2		1						
	アルゴリズム工学特論	1・2・3前		2			1					
	システムソフトウェア特論	1・2・3前		2		1						
	基盤ソフトウェア特論	1・2・3後		2			1					
	データ工学原論1	1・2・3前		2			1					

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	画像認識システム特論	1・2・3後		2		1						兼1
	マルチメディアコンピュータインテグレーション特論	1・2・3後		2								
	情報ネットワーク特論	1・2・3後		2		1						
	ネットワークアプリケーション特論	1・2・3後		2			1					
	ベイズ的人工知能特論	1・2・3前		2		1						
	統計的機械学習特論	1・2・3後		2			1					
	情報幾何学特論	1・2・3後		2		1		1				
	量子情報数理論	1・2・3前		2			1					
	ネットワークコンピュータインテグレーション特論	1・2・3前		2			1					
	計算機ネットワーク特論	1・2・3後		2		1						
	情報データ解析論	1・2・3前		2		1						
	データ解析最適化論	1・2・3後		2			1					
	音声対話処理	1・2・3後		2		1						
	アルゴリズム工学特論	1・2・3前		2			1					
	システムソフトウェア特論	1・2・3前		2				1				
	基盤ソフトウェア特論	1・2・3後		2			1					
	データ工学原論1	1・2・3前		2			1					
												兼0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データ工学原論2	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第一	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第二	1・2・3後		2			1					
専門上級科目	情報・ネットワーク工学特論	1・2・3前	2			36	32	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データ工学原論2	1・2・3前		2			1					
	並列処理論第一	1・2・3前		2			1					
	並列処理論第二	1・2・3後		2				1				
	固体照明工学特論	1・2・3前		2				1				
	CMOS集積回路設計学特論	1・2・3後		2				1				
	ゲームの数理	1・2・3前		2					2			
専門上級科目	情報・ネットワーク工学特論	1・2・3前	2					37	28	1	5	兼4

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1	
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1							
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1	
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1						
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		1							
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15	
	幾何学特論	1・2・3後		2		1							
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2		1	0						
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1						
教育学特論	1・2・3後		2		1								
大学院実践教育科目	輪講 大学院講第二	1~3通	4			41	25	1	2			兼4	
	大学院産学連携科目	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2		1	0					兼6
		知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼8
		先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
		ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
		経営実践特論	1・2・3前		1					1			兼2
		IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1	
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1							
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1	
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1						
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		0						兼1	
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15	
	幾何学特論	1・2・3後		2		1							
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2		1	0						
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1						
教育学特論	1・2・3後		2		1								
大学院実践教育科目	輪講 大学院講第二	1~3通	4			42	26	1	4			兼4	
	大学院産学連携科目	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2		1	0					兼4
		知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼7
		先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
		ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
		経営実践特論	1・2・3前		1					1			兼2
		IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		0	1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		0	1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		0	1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		0	1						
大学院専門教育科目	目専 I 門科	連続最適化基礎論		2			1						
	目専 II 門科	集積回路設計特論	1・2・3前		2		2						
		マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2		1						
		環境電磁工学特論	1・2・3前		2		1						
		無線通信システム特論	1・2・3前		2		1	1					
		情報理論特論	1・2・3後		2		1						
		情報光工学特論	1・2・3後		2			1					
		宇宙通信工学特論	1・2・3後		2			1					
		光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
		センシング工学特論	1・2・3後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		0	2						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		0	2						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		0	2						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		0	2						
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1			1						
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2			1						
大学院専門教育科目	目専 I 門科	連続最適化基礎論		2			1						
	目専 II 門科	集積回路設計特論	1・2・3前		2		2	1					
		マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2		1						
		環境電磁工学特論	1・2・3前		2		1	1					
		無線通信システム特論	1・2・3前		2		1	1					
		情報理論特論	1・2・3後		2		1						
		情報光工学特論	1・2・3後		2			1					
		宇宙通信工学特論	1・2・3後		2			1					
		光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
		センシング工学特論	1・2・3後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディア信号処理特論	1・2・3前		2				1				
	信号解析学特論	1・2・3前		2			1					
	伝送工学特論	1・2・3前		2			1					
	電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2		2	1					
	生体電磁工学特論	1・2・3後		2			1					
	非線形システム特論	1・2・3後		2			1					
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2							兼1	
	音響システム特論	1・2・3前		2			1					
	知識データ工学特論	1・2・3前		2			1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2・3前		2			1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2			1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2			1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2			1					
	応用解析学特論	1・2・3後		2			1					
	知能情報特論	1・2・3後		2			1					
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2			1					
	計算機構特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3前		2			0				兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	マルチメディア信号処理特論	1・2・3前		2						1		
	信号解析学特論	1・2・3前		2			1					
	伝送工学特論	1・2・3前		2			1					
	電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2			2	1				
	生体電磁工学特論	1・2・3後		2			1					
	非線形システム特論	1・2・3後		2			1					
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2								兼1
	音響システム特論	1・2・3前		2			1					
	知識データ工学特論	1・2・3前		2			1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2・3前		2			1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2			1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2			1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2			1					
	応用解析学特論	1・2・3後		2			1					
	知能情報特論	1・2・3後		2			1					
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2			1					
	計算機構特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			0				兼0	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データ工学原論2	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第一	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第二	1・2・3後		2			1					
専門上級科目	情報・ネットワーク工学特論	1・2・3前	2			41	25	1	2			兼4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データ工学原論2	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第一	1・2・3前		2		1						
	並列処理論第二	1・2・3後		2			1					
専門上級科目	情報・ネットワーク工学特論	1・2・3前	2			42	26	1	4			兼4

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「環太平洋圏の社会と文化」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「解析学特論」：バランスのとれた学習機会提供のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。教員の昇任に伴い、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「代数学特論」：バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。
- ・「大学院論講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授36、准教授32」から「教授41、准教授25、講師1、助教2、兼任教員4」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、兼任教員6」に変更。
- ・「知的財産権特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員8」に変更。
- ・「先端技術開発特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「経営実践特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「助教1」から「助教1、兼任教員2」に変更。
- ・「IT最前線」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅢ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅣ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅤ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（長期）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外・長期）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「ソフトウェアセキュリティ特論」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任教員1」に変更し、開講学期を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「情報幾何学特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・「システムソフトウェア特論」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「情報・ネットワーク工学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授36、准教授32」から「教授41、准教授25、講師1、助教2、兼任教員4」に変更。

【平成29年度】

- ・「現代社会と倫理」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院論講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授41、准教授25、講師1、助教2、兼任教員4」から「教授42、准教授26、講師1、助教4、兼任教員4」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員6」から「教授1、兼任教員4」に変更。
- ・「知的財産権特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員8」から「教授1、兼任教員7」に変更。
- ・「データサイエンティスト特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「データアントブレナー実践論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院インターンシップ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（長期）」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外）」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外・長期）」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院海外語学研修Ⅰ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院海外語学研修Ⅱ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「集積回路設計特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「環境電磁工学特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・「ソフトウェアセキュリティ特論」：より教育内容に即した教員が担当するため、専任教員等の配置を「兼任教員1」から「准教授1」に変更し、配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・「システムソフトウェア特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「兼任教員1」から「教授1」に変更。
- ・「情報・ネットワーク工学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授41、准教授25、講師1、助教2、兼任教員4」から「教授42、准教授26、講師1、助教4、兼任教員4」に変更。

【平成30年度】

- ・「国際社会の政治・経済」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院論講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授42、准教授26、講師1、助教4、兼任教員4」から「教授37、准教授28、講師1、助教5、兼任教員4」に変更。
- ・「経営実践特論」：担当教員昇任のため、専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・「無線通信システム特論」：教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「電磁波環境観測技術特論」：教員辞任等により、専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「ソフトウェア基礎特論」：教員辞任により、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「ソフトウェアセキュリティ特論」：教員の負担軽減のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「固体照明工学特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「CMOS集積回路設計学特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「ゲームの数理」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「情報・ネットワーク工学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授42、准教授26、講師1、助教4、兼任教員4」から「教授37、准教授28、講師1、助教5、兼任教員4」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	72 科目	0 科目	74 科目	2 科目 [ 0 ]	81 科目 [ 9 ]	0 科目 [ 0 ]	83 科目 [ 9 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{74} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地（校舎 から2km）			
	校 舎 敷 地	115,433 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,433 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	38,187 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	38,187 m <sup>2</sup>				
	小 計	153,620 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	153,620 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	34,685 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	34,685 m <sup>2</sup>				
	合 計	188,305 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	188,305 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		0 室	46 室	55 室	4 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻(博士後期課程)			121 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体  受入・廃棄等に伴う変更 (30)	
	情報理工学域 I類(情報系)	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 ( 0 )	0 ( 0 )		
	計	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 ( 0 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		7,323 m <sup>2</sup>		669	368,000				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,077 m <sup>2</sup>		多摩川運動場（陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート4面、アーチェリー場）、プール、屋外競技場（弓道場、テニスコート7面）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
情報理工学域									
<u>I類（情報系）</u>	4	210	3年次 9	858	学士 （工学）	1.04	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号	一般入試（前期日程）では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめた状況を記載している。
<u>II類（融合系）</u>	4	245	3年次 10	1000	学士 （工学）	1.04	平成28年度	同上	
<u>III類（理工系）</u>	4	235	3年次 10	960	学士 （工学）	1.04	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程 （夜間主）	4	30	3年次 3	126	学士 （工学）	1.00	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士 （工学）	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士 （工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士 （工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士 （工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程 （夜間主）	4	-	-	-	学士 （工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科 （博士前期課程）									
情報学専攻	2	110	-	220	修士 （工学）（理 学）（学術）	1.16	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号	
情報・ネットワーク 工学専攻	2	150	-	300	修士 （工学）（理 学）（学術）	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム 専攻	2	105	-	210	修士 （工学）（理 学）（学術）	1.06	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士 （工学）（理 学）（学術）	0.99	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士 （工学）（理 学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学 専攻	2	-	-	-	修士 （工学）（理 学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士 （工学）（理 学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士 （工学）（理 学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止

情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学)(学術)	1.17	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				
情報・ネットワーク 工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学)(学術)	0.70	平成28年度	同上				
機械知能システム学 専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学)(学術)	1.02	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学)(学術)	0.66	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報・通信工学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	准教授	野村英之 (42) ＜平成28年4月＞ 音響システム特論	野村英之 (42) ＜平成28年4月＞ 音響システム特論	専	准教授	野村英之 (43) ＜平成28年4月＞ 音響システム特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	野村英之 (44) ＜平成28年4月＞ 音響システム特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	准教授	範公可 (51) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	範公可 (51) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	範公可 (52) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	教授	範公可 (53) ＜平成28年4月＞ CMOS集積回路設計学特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	准教授	韓承鎬 (40) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	韓承鎬 (40) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	韓承鎬 (41) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	韓承鎬 (42) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	准教授	細川敬祐 (40) ＜平成28年4月＞ 宇宙通信工学特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	細川敬祐 (40) ＜平成28年4月＞ 宇宙通信工学特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	細川敬祐 (41) ＜平成28年4月＞ 宇宙通信工学特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	細川敬祐 (42) ＜平成28年4月＞ 宇宙通信工学特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	准教授	松浦基晴 (43) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	松浦基晴 (43) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	松浦基晴 (44) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	松浦基晴 (45) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	准教授	八木秀樹 (40) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	八木秀樹 (40) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	八木秀樹 (41) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	准教授	八木秀樹 (42) ＜平成28年4月＞ 大学院インターンシップ 大学院インターンシップ(海外) 大学院インターンシップ(長期) 大学院インターンシップ(海外・長期) 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
専	講師	小田弘 (56) ＜平成28年4月＞ マルチメディア信号処理特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	小田弘 (56) ＜平成28年4月＞ マルチメディア信号処理特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	講師	小田弘 (57) ＜平成28年4月＞ マルチメディア信号処理特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	講師	小田弘 (58) ＜平成28年4月＞ マルチメディア信号処理特論 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論						
										専	助教	Kitsuwan Nattapong (38) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論	専	助教	Kitsuwan Nattapong (39) ＜平成28年4月＞ 大学院輪講第二 情報・ネットワーク工学特論
兼任	教授	柳井啓司 (44) ＜平成28年4月＞ 画像認識システム特論	柳井啓司 (44) ＜平成28年4月＞ 画像認識システム特論	兼任	教授	柳井啓司 (45) ＜平成28年4月＞ 画像認識システム特論	兼任	教授	柳井啓司 (46) ＜平成28年4月＞ 画像認識システム特論						
兼任	准教授	市野将嗣 (36) ＜平成28年4月＞ ソフトウェアセキュリティ特論	市野将嗣 (36) ＜平成28年4月＞ ソフトウェアセキュリティ特論	兼任	准教授	市野将嗣 (37) ＜平成28年4月＞ ソフトウェアセキュリティ特論	兼任	准教授	市野将嗣 (38) ＜平成28年4月＞ ソフトウェアセキュリティ特論						
兼任	教授	柳澤正久 (63) ＜平成28年4月＞ 電磁波環境観測技術特論	柳澤正久 (63) ＜平成28年4月＞ 電磁波環境観測技術特論	兼任	教授	柳澤正久 (64) ＜平成28年4月＞ 電磁波環境観測技術特論	兼任	教授	柳澤正久 (65) ＜平成28年4月＞ 電磁波環境観測技術特論						
兼任	准教授	武者満 (52) ＜平成28年4月＞ 情報光学特論	武者満 (52) ＜平成28年4月＞ 情報光学特論	兼任	准教授	武者満 (53) ＜平成28年4月＞ 情報光学特論	兼任	准教授	武者満 (54) ＜平成28年4月＞ 情報光学特論						
兼任	教授	田野俊一 (57) ＜平成28年4月＞ IT最前線	田野俊一 (57) ＜平成28年4月＞ IT最前線	兼任	教授	田野俊一 (58) ＜平成28年4月＞ IT最前線	兼任	教授	田野俊一 (59) ＜平成28年4月＞ IT最前線						
兼任	教授	山田裕一 (47) ＜平成28年4月＞ 幾何学特論	山田裕一 (47) ＜平成28年4月＞ 幾何学特論	兼任	教授	山田裕一 (48) ＜平成28年4月＞ 幾何学特論	兼任	教授	山田裕一 (49) ＜平成28年4月＞ 幾何学特論						
兼任	准教授	榎本直也 (35) ＜平成28年4月＞ 代数学特論	榎本直也 (35) ＜平成28年4月＞ 代数学特論	兼任	准教授	榎本直也 (36) ＜平成28年4月＞ 代数学特論	兼任	准教授	榎本直也 (37) ＜平成28年4月＞ 代数学特論						
兼任	教授	内田雅文 (51) ＜平成28年4月＞	内田雅文 (51) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	内田雅文 (52) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	内田雅文 (53) ＜平成28年4月＞ 先端技術開発特論						
兼任	教授	阿部浩二 (59) ＜平成28年4月＞ 環太平洋圏の社会と文化	阿部浩二 (59) ＜平成28年4月＞ 環太平洋圏の社会と文化	兼任	教授	阿部浩二 (60) ＜平成28年4月＞ 環太平洋圏の社会と文化	兼任	教授	阿部浩二 (61) ＜平成28年4月＞ 環太平洋圏の社会と文化						
兼任	教授	桂川真幸 (53) ＜平成28年4月＞ オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ	桂川真幸 (53) ＜平成28年4月＞ オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ	兼任	教授	桂川真幸 (54) ＜平成28年4月＞ オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ	兼任	教授	桂川真幸 (55) ＜平成28年4月＞ オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ						



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	高野倉 雅人 (42) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	尾原 和貴 (45) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	加藤 浩一郎 (50) <平成28年4月> 知的財産論特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	高野倉 雅人 (42) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	尾原 和貴 (45) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	加藤 浩一郎 (50) <平成28年4月> 知的財産論特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	木元 麻里 (44) <平成28年4月> 現代社会と倫理
兼任	講師	高野倉 雅人 (43) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	村井 雄司 (52) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	村口 和孝 (58) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	薄田 ゆかり (56) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	丹羽 泉 (80) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	長谷部 美佳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	John Porter (36) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	野平 宗弘 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	左右田 直規 (47) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	倉田 朋子 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	田島 陽一 (47) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	岡田 知子 (51) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	降幡 正志 (50) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	小川 英文 (61) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	宮田 敏之 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	山内 由理子 (44) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	李 孝徳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	佐々木 孝広 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	尾原 和貴 (46) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	木村 友久 (61) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	加藤 浩一郎 (51) <平成28年4月> 知的財産論特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	木元 麻里 (45) <平成28年4月> 現代社会と倫理
兼任	講師	佐々木 雄一 ( ) <平成28年4月> 日本とアジアの近代史
兼任	講師	高野倉 雅人 (44) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	宮地 隆廣 ( ) <平成28年4月> 国際社会の政治・経済
兼任	講師	村井 雄司 (53) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	村口 和孝 (59) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	薄田 ゆかり (57) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	丹羽 泉 (61) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	長谷部 美佳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	John Porter (37) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	野平 宗弘 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	左右田 直規 (48) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	倉田 朋子 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	田島 陽一 (48) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	岡田 知子 (52) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	降幡 正志 (51) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	小川 英文 (62) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	宮田 敏之 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	山内 由理子 (45) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	李 孝徳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	佐々木 孝広 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	尾原 和貴 (47) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	木村 友久 (62) <平成28年4月> 知的財産論特論
兼任	講師	加藤 浩一郎 (52) <平成28年4月> 知的財産論特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	岡村 信一 (58) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村 信一 (59) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村 信一 (58) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村 信一 (59) <平成28年4月>			
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			
兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>			
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			
兼任	講師	香島 拓也 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	香島 拓也 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	香島 拓也 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	香島 拓也 (50) <平成28年4月>			
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			
						兼任	講師	戸田 恒夫 (65) <平成28年4月>	兼任	講師	戸田 恒夫 (66) <平成28年4月>			
								知的財産論特論			知的財産論特論			
兼任	講師	尾内 理紀夫 (66) <平成28年4月>	兼任	講師	尾内 理紀夫 (66) <平成28年4月>	兼任	講師	尾内 理紀夫 (67) <平成28年4月>	兼任	講師	尾内 理紀夫 (68) <平成28年4月>			
		マルチメディアコンピューティング特論			マルチメディアコンピューティング特論			マルチメディアコンピューティング特論			マルチメディアコンピューティング特論			
兼任	講師	大山 恵弘 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	大山 恵弘 ( ) <平成28年4月>									
		ソフトウェアセキュリティ特論			ソフトウェアセキュリティ特論									
									兼任	講師	中野 圭介 (40) <平成28年4月>			
											ソフトウェア基礎特論			
兼任	講師	角田 博保 (65) <平成28年4月>	兼任	講師	角田 博保 (65) <平成28年4月>	兼任	講師	角田 博保 (66) <平成28年4月>	兼任	講師	角田 博保 (67) <平成28年4月>			
		ヒューマンインターフェース特論			ヒューマンインターフェース特論			ヒューマンインターフェース特論			ヒューマンインターフェース特論			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

- ・大木英司教授辞任により、他の専任教員に変更。
- ・平成28年10月山崎匡准教授就任。
- ・平成28年10月湯素華助教就任。
- ・本城和彦教授辞任により、石橋孝一郎教授に変更。
- ・平成28年10月萱野良樹准教授就任。
- ・平成28年10月Kitsuwan Nattapong助教就任。

【平成30年度】

- ・中野圭介教授辞任により、八木秀樹准教授に変更。
- ・平成29年10月保木邦仁准教授主任。
- ・平成30年4月伊藤毅志准教授就任。
- ・平成30年4月高橋里司准教授就任。
- ・橋本猛教授辞任により、他の専任教員に変更。
- ・富澤一郎准教授辞任。(担当科目は担当者数の減員を行ったため後任なし)

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10	7	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
33	31	1	1	66	37	35	1	6	79	37	35	1	6	79
(38)	(33)	(1)	(4)	(76)						[4]	[4]	[0]	[5]	[13]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
59	7	0			71	8	0			71	8	0		
(69)	(6)	(1)								[12]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{79}{66} = \boxed{119.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
該当なし										
合計 (D)										
就任を辞退した教員数			後任補充状況の集計 (E)							
			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	大木 英司	必修	大学院輪講第二	①	H29. 2. 28付け退職のため辞任 (29)							
			必修	情報・ネットワーク工学特講	①								
2	准教授	中野 圭介	必修	ソフトウェア基礎特論	②	H30. 3. 31付け退職のため辞任 (30)							
			選択	大学院インターンシップ	①								
			選択	大学院インターンシップ (海外)	①								
			選択	大学院インターンシップ (長期)	①								
			選択	大学院インターンシップ (海外・長期)	①								
合計 (F)													
辞任した教員数			後任補充状況の集計 (G)										
			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
2	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
2	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{66} = 3.03\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	本城 和彦	選択	集積回路設計特論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)			
			必修	大学院輪講第二	①				
			必修	情報・ネットワーク工学特論	①				
2	教授	橋本 猛	必修	大学院輪講第二	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (29)			
			必修	情報・ネットワーク工学特論	①				
3	准教授	富澤 一郎	選択	電磁波環境観測技術特論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (29)			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	該当なし	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学教育センター教育推進部門が中心となり、教育の質の改善・向上に向けた取組を実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 大学教育センター教育推進部門会議（平成29年度） 第47回（5月9日：参加者 7名） 第48回（10月10日：参加者 9名） 第49回（2月22日：参加者 8名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 (1) ファカルティ・ディベロップメントの実施に関すること (2) 学生授業評価の実施に関すること (3) シラバス及び成績評価に関すること (4) 教育環境の整備に関すること (5) その他、教育に関わる調査の実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ T A 講習会 ・ 学術院新任教育系職員研修会 ・ F D 研修会 ・ ハラスメント防止研修 ・ F D 講演会 等</p> <p>b 実施方法 大学教育センター教育推進部門を中心として、全学的なファカルティ・ディベロップメント講演会、公開授業参観、授業評価アンケート等に関するワークショップ等に取り組んでいる。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 4月6日：第1回 T A 講習会 参加者253名（学生243名、教員10名） ・ 4月14日：学術院新任教育系職員研修会 参加者 9名 ・ 4月18日： F D 数学、物理、化学、情報、基礎学力検討会 参加者 27名 ・ 4月24日：研究授業・授業検討会：『基礎磁気学および演習』 参加者 10名</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・ 6月24日：学部技術英語FD研修会  
参加者 14名
- ・ 7月25日：ハラスメント防止研修  
参加者 50名
- ・ 9月5日：実験実習研修会  
参加者 44名
- ・ 9月19日：第2回TA講習会  
参加者 54名（学生48名、教員 6名）
- ・ 9月28日：コーチングから学ぶコミュニケーションスキル  
参加者 41名
- ・ 10月30日：第1回FD講演会「大学の国際連携の動向」ーグローバルな視点での大学教育の連携、展開ー  
参加者 44名
- ・ 11月8日：障害学生支援に係るFD研修  
参加者 52名
- ・ 11月17日：第2回FD講演会「ICT教材開発とその運用」  
参加者 34名
- ・ 12月12日：LGBTを理解するための研修  
参加者 68名
- ・ 1月31日：役員情報セキュリティ研修  
参加者 15名
- ・ 2月19日：情報セキュリティ研修  
参加者 82名
- ・ 2月21日：初等・中等教育の現状と本学における情報教育の取り組み  
参加者201名
- ・ 3月7日：メンタルヘルス懇談会・障害学生支援に係るFD研修  
参加者 77名
- ・ 3月8日：学生とのコミュニケーションについて考える  
参加者 55名
- ・ 3月15日：キャリア教育部会報告会  
参加者 23名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育改善調査の実施及び各種研修プログラムの提供について、第3期中期目標・中期計画を踏まえた道筋の検討を進めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期及び後学期の終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を教員にフィードバックすることにより、自主的な授業の改善を促しているほか、他の教員の参考となるように、アンケートの総合評価が高かった科目の中で科目区分（講義、実験、体育、大学院）別に上位10%のものについて、大学教育センターの学内専用ウェブサイトで公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に基づき、平成28年4月1日に開設した。「広い視野と倫理観を持ち、グローバル社会で活躍できる確かな専門知識と実践的な応用力を持ち、リーダーとして企画・開発をも担える高度専門技術者を育成する」という設置の趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年7月公開予定

b 公表方法

「自己点検・評価報告書（年度計画の実施状況）」を大学ホームページで公表予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成33（2021）年に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月30日 )

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。



注3

**大学番号：031**

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

**事前伺い**

注1

電気通信大学大学院 情報理工学研究科  
機械知能システム学専攻（博士後期課程）

注2

### 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	総務課企画戦略係		
職名・氏名	係長	飯 銅	純二
電話番号	042-443-5050		
（夜間）	042-443-5050		
F A X	042-443-5010		
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
 ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

情報理工学研究科

＜機械知能システム学専攻（博士後期課程）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	3
2. 授業科目の概要	.....	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	.....	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	.....	15
5. 教員組織の状況	.....	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	.....	27
7. その他全般的事項	.....	28

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フクダ タカシ) 福田 喬 (平成26年4月1日)		
研究科長	(ホンジョウ カズヒコ) 本城 和彦 (平成27年4月1日)	(タノ シュンイチ) 田野 俊一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)
専攻長	(コイケ タクジ) 小池 卓二 (平成28年4月1日)	<del>(タボキ タカシ)</del> <del>久保木 孝</del> <del>(平成29年4月1日)</del> (カネコ オサム) 金子 修 (平成30年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)  任期満了に伴う交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)(理学)(学術)	工学関係  理学関係	3年	12人	36人	基礎となる学部等  情報理工学域

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12 ( - ) [ - ]	人 人	12 ( - ) [ - ]	人 人	12 ( - ) [ - ]	人 人	1.02 倍	
志願者数	6 ( 1 ) [ - ]	6 ( 3 ) [ 1 ]	13 ( 4 ) [ 4 ]	4 ( 3 ) [ 1 ]	11 ( 4 ) [ 3 ]	( ) [ ]		
受験者数	6 ( 1 ) [ - ]	6 ( 3 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 4 ]	4 ( 3 ) [ 1 ]	11 ( 4 ) [ 3 ]	( ) [ ]		
合格者数	5 ( 1 ) [ - ]	6 ( 3 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 4 ]	4 ( 3 ) [ 1 ]	10 ( 3 ) [ 3 ]	( ) [ ]		
B 入学者数	5 ( 1 ) [ - ]	6 ( 3 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 4 ]	4 ( 3 ) [ 1 ]	10 ( 3 ) [ 3 ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.91		1.33		0.83			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	5 [ 1 ] ( - )	6 [ 1 ] ( - )	12 [ 4 ] ( - )	6 [ 1 ] ( - )	10 [ 3 ]	4 [ 2 ]	
2年次	/		5 [ 1 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	12 [ 4 ] ( - )	5 [ 1 ] ( - )	
3年次			/				5 [ 1 ] ( - )
計	11 [ 2 ] ( - )				23 [ 6 ] ( - )		36 [ 11 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	11人	0人	平成28年度	0人	0人	
平成29年度	23人	1人	平成28年度	1人	0人	その他(1人)
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	36人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	70人	1人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 機械知能システム学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1						兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		1						
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後		2			1					
	代数学特論	1・2・3後		2			1					
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			21	14					
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2			1					
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1					1			
	IT最前線	1・2・3後		2		1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2								兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2				0				兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2				1				
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2					1			
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			21	15			2		兼1
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2			1	0				兼4
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1				1		0		兼2
	IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	メカトロニクス特論	1・2・3前		2			1					
	ロボット応用工学特論	1・2・3前		2		1	1					
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2		2						
	運動計測学特論	1・2・3前		2			1					
	バーチャルリアリティ特論	1・2・3前		2			1					
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2		2						
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2		2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンスディスト特論	1・2・3後		2			1					
	データアナリシス実習	1・2・3後		2			1					
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	9					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1			1					
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2			1					
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	メカトロニクス特論	1・2・3前		2			1					
	ロボット応用工学特論	1・2・3前		2			2	0				
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2		2						
	運動計測学特論	1・2・3前		2			1					
	バーチャルリアリティ特論	1・2・3前		2			1					
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2		2						
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2		2						



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知的生産システム特論	1・2・3前		2			1						
	機械情報学特論	1・2・3後		2		1							
	力学系現象特論	1・2・3前		2		1	1						
	計算力学特論	1・2・3前		2		1							
	ナノトロジー特論	1・2・3前		2		1							
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2		2							
	生体計測工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	ロボスト制御工学特論	1・2・3前		2			1						
	組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知覚システム特論	1・2・3後		2			1						
	感覚運動システム特論	1・2・3前		2		1							
級専門上	機械知能システム学特論	1・2・3前	2			21	14						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知的生産システム特論	1・2・3前		2			1	0					
	機械情報学特論	1・2・3後		2		1							
	力学系現象特論	1・2・3前		2		1	1						
	計算力学特論	1・2・3前		2			0	1					
	ナノトロジー特論	1・2・3前		2		1							
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2			2	0					
	ロボスト制御工学特論	1・2・3前		2			1	0					
	組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知覚システム特論	1・2・3後		2			1						
	感覚運動システム特論	1・2・3前		2		1							
	Advanced Robotics and Mechatronics Engineering	1・2・3前		2			1						
	大学院国際協働学術研修	1・2・3後		2			1						
	大学院国際協働学術研修(長期)	1・2・3後		2			1						
級専門上	機械知能システム学特論	1・2・3前	2			21	15		2			兼1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1						
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		1						
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2		1	0					
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1					
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	輪講 大学院	1~3通	4			21	14		2			兼1
	大学院産学連携科目	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2		1	0					兼6
	知的財産権特論	1・2・3後	2		1							兼8
	先端技術開発特論	1・2・3後	2		1							兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2		2	2						
	経営実践特論	1・2・3前	1					1				兼2
	I T最前線	1・2・3後	2		1							兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2								
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2			0					兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1	0				
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2				1				
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	輪講 大学院	1~3通	4					24	10		2	兼1
	大学院産学連携科目	ベンチャービジネス特論	1・2・3前	2		1	0					兼4
	知的財産権特論	1・2・3後	2		1							兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後	2		1							兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通	2		2	2						
	経営実践特論	1・2・3前	1							1		兼2
	I T最前線	1・2・3後	2		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	メカトロニクス特論	1・2・3前		2			1					
	ロボット応用工学特論	1・2・3前		2		1	1					
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2		2						
	運動計測学特論	1・2・3前		2			1					
	バーチャルリアリティ特論	1・2・3前		2			1					
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2		2						
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2		2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンス特論	1・2・3後		2			1					
	データアナリティクス実践論	1・2・3後		2			1					
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1				1				
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2				1				
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	メカトロニクス特論	1・2・3前		2				1				
	ロボット応用工学特論	1・2・3前		2				2	0			
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2				2				
	運動計測学特論	1・2・3前		2				1				
	バーチャルリアリティ特論	1・2・3前		2				1				
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2				2				
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2				2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知的生産システム特論	1・2・3前		2			1						
	機械情報学特論	1・2・3後		2		1							
	力学系現象特論	1・2・3前		2		1	1						
	計算力学特論	1・2・3前		2		1							
	ナノテクノロジー特論	1・2・3前		2		1							
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2		2							
	生体計測工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	ロボスト制御工学特論	1・2・3前		2		1	0						
	組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知覚システム特論	1・2・3後		2			1						
	感覚運動システム特論	1・2・3前		2		1							
級専門上	機械知能システム学特論	1・2・3前	2			21	14	2				兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知的生産システム特論	1・2・3前		2			1	0					
	機械情報学特論	1・2・3後		2		1							
	力学系現象特論	1・2・3前		2		1	1						
	計算力学特論	1・2・3前		2		1							
	ナノテクノロジー特論	1・2・3前		2		1							
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2			2	0					
	ロボスト制御工学特論	1・2・3前		2			1	0					
	組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1						
	知覚システム特論	1・2・3後		2				1					
	感覚運動システム特論	1・2・3前		2			1						
	Advanced Robotics and Mechatronics Engineering	1・2・3前		2			1						
	大学院国際協働学術研修	1・2・3後				2	1						
	大学院国際協働学術研修(長期)	1・2・3後				4	1						
級専門上	機械知能システム学特論	1・2・3前	2				24	10		2		兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(3) 未開講科目

番号	該当なし			数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1								
2								
3								

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	該当なし			数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1								
2								
3								

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

数式が入力されています。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{44} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地（校舎 から2km）			
	校舎敷地	115,433 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,433 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	38,187 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	38,187 m <sup>2</sup>				
	小 計	153,620 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	153,620 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	34,685 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	34,685 m <sup>2</sup>				
	合 計	188,305 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	188,305 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		0 室	5 室	73 室	2 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		情報理工学研究科 機械知能システム学専攻(博士後期課程)			70 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体  受入・廃棄等に伴う変更 (30)	
	情報理工学域 I類(情報系)	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0  ( 0 )	0  ( 0 )		
	計	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0  ( 0 )	0  ( 0 )		
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		7,323 m <sup>2</sup>		669	368,000				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,077 m <sup>2</sup>		多摩川運動場（陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート4面、アーチェリー場）、プール、屋外競技場（弓道場、テニスコート7面）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報理工学域									
I類(情報系)	4	210	3年次9	858	学士(工学)	1.04	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試(前期日程)では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめた状況を記載している。
II類(融合系)	4	245	3年次10	1000	学士(工学)	1.04	平成28年度	同上	
III類(理工系)	4	235	3年次10	960	学士(工学)	1.04	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程(夜間主)	4	30	3年次3	126	学士(工学)	1.00	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程(夜間主)	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科(博士前期課程)									
情報学専攻	2	110	-	220	修士(工学)(理学)(学術)	1.16	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士(工学)(理学)(学術)	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士(工学)(理学)(学術)	1.06	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士(工学)(理学)(学術)	0.99	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止

情報理工学研究科 (博士後期課程)										
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学)(学術)	1.17	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号		
情報・ネットワーク 工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学)(学術)	0.70	平成28年度	同上		
機械知能システム学 専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学)(学術)	1.02	平成28年度	同上		
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学)(学術)	0.66	平成28年度	同上		
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報・通信工学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)										
情報メディアシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号		平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)										
情報メディアシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号		平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上		平成28年学生募集 停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。











専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	比留間 伸行 ( ) <平成28年4月> 大学院輪講第二 機械知能システム学特論
兼任	講師	尾原 宏之 ( ) <平成28年4月> 日本とアジアの近代史
兼任	講師	高野倉 雅人 (42) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	比留間 伸行 ( ) <平成28年4月> 大学院輪講第二 機械知能システム学特論
兼任	講師	尾原 宏之 ( ) <平成28年4月> 日本とアジアの近代史
兼任	講師	高野倉 雅人 (42) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	赤羽 雄二 (62) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	安藤 晴彦 (55) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	木元 麻里 (44) <平成28年4月> 現代社会と倫理
兼任	講師	高野倉 雅人 (43) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	村井 雄司 (52) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	村口 和孝 (58) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	薄田 ゆかり (56) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	丹羽 泉 (60) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	長谷部 美佳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	John Porter (36) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	野平 宗弘 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	左右田 直規 (47) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	倉田 朋子 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	田島 陽一 (47) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	岡田 知子 (51) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	降幡 正志 (50) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	小川 英文 (61) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	宮田 敏之 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	山内 由理子 (44) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	李 孝徳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	赤羽 雄二 (63) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	安藤 晴彦 (56) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	木元 麻里 (45) <平成28年4月> 現代社会と倫理
兼任	講師	佐々木 雄一 ( ) <平成28年4月> 日本とアジアの近代史
兼任	講師	高野倉 雅人 (44) <平成28年4月> 技術者と安全・環境・倫理
兼任	講師	宮地 隆廣 ( ) <平成28年4月> 国際社会の政治・経済
兼任	講師	村井 雄司 (53) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	村口 和孝 (59) <平成28年4月> ベンチャービジネス特論
兼任	講師	薄田 ゆかり (57) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	丹羽 泉 (61) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	長谷部 美佳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	John Porter (37) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	野平 宗弘 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	左右田 直規 (48) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	倉田 朋子 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	田島 陽一 (48) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	岡田 知子 (52) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	降幡 正志 (51) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	小川 英文 (62) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	宮田 敏之 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	山内 由理子 (45) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化
兼任	講師	李 孝徳 ( ) <平成29年4月> 環太平洋圏の社会と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	樋口 幸治	選択	組込み制御システム学特論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)			
			必修	大学院輪講第二	①				
			必修	機械知能システム学特論	①				
2	教授	新谷 一人	選択	計算力学特論	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	大学院輪講第二	①				
			必修	機械知能システム学特論	①				
3	教授	前川 博	必修	大学院輪講第二	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修	機械知能システム学特論	①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

・樋口幸治准教授辞任により、澤田賢治准教授に変更。

【平成30年度】

・新谷一人教授辞任により、千葉一永准教授に変更。  
・前川博教授辞任により、他の専任教員に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
8	6	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
18	15	0	1	34	22	17	0	6	45	22	17	0	6	45
(25)	(11)	(0)	(2)	(38)						[4]	[2]	[0]	[5]	[11]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
28	6	0			38	7	0			38	7	0		
(36)	(2)	(0)								[10]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、  
**完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{45}{34} = \boxed{132.35} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区分	該当なし	履行状況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<情報理工学研究科 機械知能システム学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学教育センター教育推進部門が中心となり、教育の質の改善・向上に向けた取組を実施している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 大学教育センター教育推進部門会議（平成29年度） 第47回（5月9日：参加者 7名） 第48回（10月10日：参加者 9名） 第49回（2月22日：参加者 8名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 （1）ファカルティ・ディベロップメントの実施に関すること （2）学生授業評価の実施に関すること （3）シラバス及び成績評価に関すること （4）教育環境の整備に関すること （5）その他、教育に関わる調査の実施に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ T A 講習会 ・ 学院院新任教育系職員研修会 ・ F D 研修会 ・ ハラスメント防止研修 ・ F D 講演会 等</p> <p>b 実施方法 大学教育センター教育推進部門を中心として、全学的なファカルティ・ディベロップメント講演会、公開授業参観、授業評価アンケート等に関するワークショップ等に取り組んでいる。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 4月6日：第1回 T A 講習会 参加者253名（学生243名、教員10名） ・ 4月14日：学院院新任教育系職員研修会 参加者 9名 ・ 4月18日： F D 数学、物理、化学、情報、基礎学力検討会 参加者 27名 ・ 4月24日：研究授業・授業検討会：『基礎磁気学および演習』 参加者 10名</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・ 6月24日：学部技術英語FD研修会  
参加者 14名
- ・ 7月25日：ハラスメント防止研修  
参加者 50名
- ・ 9月5日：実験実習研修会  
参加者 44名
- ・ 9月19日：第2回TA講習会  
参加者 54名（学生48名、教員 6名）
- ・ 9月28日：コーチングから学ぶコミュニケーションスキル  
参加者 41名
- ・ 10月30日：第1回FD講演会「大学の国際連携の動向」ーグローバルな視点での大学教育の連携、展開ー  
参加者 44名
- ・ 11月8日：障害学生支援に係るFD研修  
参加者 52名
- ・ 11月17日：第2回FD講演会「ICT教材開発とその運用」  
参加者 34名
- ・ 12月12日：LGBTを理解するための研修  
参加者 68名
- ・ 1月31日：役員情報セキュリティ研修  
参加者 15名
- ・ 2月19日：情報セキュリティ研修  
参加者 82名
- ・ 2月21日：初等・中等教育の現状と本学における情報教育の取り組み  
参加者201名
- ・ 3月7日：メンタルヘルス懇談会・障害学生支援に係るFD研修  
参加者 77名
- ・ 3月8日：学生とのコミュニケーションについて考える  
参加者 55名
- ・ 3月15日：キャリア教育部会報告会  
参加者 23名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育改善調査の実施及び各種研修プログラムの提供について、第3期中期目標・中期計画を踏まえた道筋の検討を進めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期及び後学期の終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を教員にフィードバックすることにより、自主的な授業の改善を促しているほか、他の教員の参考となるように、アンケートの総合評価が高かった科目の中で科目区分（講義、実験、体育、大学院）別に上位10%のものについて、大学教育センターの学内専用ウェブサイトで公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に基づき、平成28年4月1日に開設した。「広い視野と倫理観を持ち、グローバル社会で活躍できる確かな専門知識と実践的な応用力を持ち、リーダーとして企画・開発をも担える高度専門技術者を育成する」という設置の趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年7月公開予定

b 公表方法

「自己点検・評価報告書（年度計画の実施状況）」を大学ホームページで公表予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成33（2021）年に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月30日 )

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

**大学番号：031**

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

**事前伺い**

電気通信大学大学院 情報理工学研究科  
基盤理工学専攻（博士後期課程）

注2

### 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務課企画戦略係
職名・氏名	係長 <small>ハンドウ</small> 飯 銅 <small>ジュンジ</small> 純 二
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。  
 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
 ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

情報理工学研究科

<基盤理工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フクダ タカシ) 福田 喬 (平成26年4月1日)		
研究科長	(ホンジョウ カズヒコ) 本城 和彦 (平成27年4月1日)	(タノ シュンイチ) 田野 俊一 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)
専攻長	(イシダ タカユキ) 石田 尚行 (平成28年4月1日)	<del>(ニシオカ ハジメ)</del> <del>西岡 一</del> <del>(平成29年4月1日)</del> (オクノ ツヨシ) 奥野 剛史 (平成30年4月1日)	任期満了に伴う交代 (29)  任期満了に伴う交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 基盤理工学専攻 (博士後期課程)  博士(工学)(理学)(学術)	工学関係  理学関係	3年	12人	36人	基礎となる学部等  情報理工学域

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	16 ( - ) [ - ]	人 人	16 ( - ) [ - ]	人 人	16 ( - ) [ - ]	人 人			0.66 倍	
志願者数	12 ( 1 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ - ]	7 ( 2 ) [ 2 ]	( ) [ ]				
受験者数	12 ( 1 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ - ]	7 ( 2 ) [ 2 ]	( ) [ ]				
合格者数	12 ( 1 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ 1 ]	12 ( 4 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ - ]	7 ( 2 ) [ 2 ]	( ) [ ]				
B 入学者数	10 ( 1 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ 1 ]	11 ( 4 ) [ 1 ]	2 ( 1 ) [ - ]	7 ( 2 ) [ 2 ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	0.75		0.81		0.43					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	10 [ 1 ] ( - )	2 [ 1 ] ( - )	11 [ 1 ] ( - )	2 [ 1 ] ( - )	7 [ 2 ]	2 [ 1 ]	
2年次	/		10 [ 1 ] ( - )	0 [ 0 ] ( - )	10 [ 1 ] ( - )	2 [ 1 ] ( - )	
3年次			/				9 [ 2 ] ( - )
計	12 [ 1 ] ( - )				23 [ 3 ] ( - )		30 [ 7 ] ( - )

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	12人	0人	平成28年度	0人	0人	
平成29年度	23人	2人	平成28年度	1人	0人	経済的理由(1人)
			平成29年度	1人	0人	授業料未納(1人)
平成30年度	30人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	65人	2人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{23} = \boxed{8.69} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 基盤理工学専攻（博士後期課程）>

### (1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1						兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		1						
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後		2			1					
	代数学特論	1・2・3後		2			1					
	教育学特論	1・2・3後		2		1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			31	28					
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2			1					
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1					1			
	IT最前線	1・2・3後		2		1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2								兼1
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2			0					兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1	0				
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1					
	教育学特論	1・2・3後		2		1						
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4				30	29		4		
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2			1					兼4
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1				1				兼2
	IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1
	データサイエンス特論	1・2・3後		2			1					
	データアナリティクス実践特論	1・2・3後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2						
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2						
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		1						
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		1						
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		1						
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	環境材料学特論	1・2・3前		2		1						
	ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2			2					
	光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
	ナノエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1						
	超伝導デバイス特論	1・2・3前		2		1						
	計算物理学特論	1・2・3後		2			2					
	集積回路設計学特論	1・2・3後		2			1					
	光通信デバイス特論	1・2・3後		2		1						
	固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2		1				
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2		1				
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2			0	2				
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2			0	2				
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4			0	2				
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4			0	2				
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1				1				
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2				1				
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	環境材料学特論	1・2・3前		2		1						
	ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2			2					
	光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
	ナノエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1						
	超伝導デバイス特論	1・2・3前		2		1						
	計算物理学特論	1・2・3後		2			1	1				
	集積回路設計学特論	1・2・3後		2			1	0				
	光通信デバイス特論	1・2・3後		2		1						
	固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	光計測特論	1・2・3後		2		1							
	情報光工学特論	1・2・3前		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	物理工学特論	1・2・3前		2								兼1	
	固体照明工学特論	1・2・3後		2			1						
	量子情報光学特論	1・2・3前		2			2						
	低温量子物性工学特論	1・2・3前		2		1							
	固体量子工学特論	1・2・3前		2			1						
	ナノトライボロジー特論	1・2・3後		2		1							
	統計物理工学特論	1・2・3前		2		1							
	現代レーザー分光光学特論	1・2・3前		2		1	1						
	原子光工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	電子物性特論	1・2・3後		2			1						
	X線結晶学特論	1・2・3後		2			1						
	固体物性化学特論	1・2・3前		2		1							
	化学反応特論	1・2・3後		2			1						
	生体情報システム学特論	1・2・3後		2		1							
	化学生命工学特論	1・2・3前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	光計測特論	1・2・3後		2		1							
	情報光工学特論	1・2・3前		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2			2	0					
	物理工学特論	1・2・3前		2								兼1	
	固体照明工学特論	1・2・3前		2			1	0					
	量子情報光学特論	1・2・3前		2			2						
	低温量子物性工学特論	1・2・3前		2		1							
	固体量子工学特論	1・2・3前		2			1						
	ナノトライボロジー特論	1・2・3後		2		1							
	統計物理工学特論	1・2・3前		2		1							
	現代レーザー分光光学特論	1・2・3前		2		1	1						
	原子光工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	電子物性特論	1・2・3後		2			1						
	X線結晶学特論	1・2・3後		2			1						
	固体物性化学特論	1・2・3前		2		1							
	化学反応特論	1・2・3後		2			1						
	生体情報システム学特論	1・2・3後		2		1							
	化学生命工学特論	1・2・3前		2								兼2	

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	無機物質 化学特論	1・ 2・3 前		2		1						
	物理化学 特論	1・ 2・3 後		2			1					
	ゲノム生 物学特論	1・ 2・3 後		2			1					
科 専 門 上 級	基盤理工 学特論	1・ 2・3 前	2			31	28					

科目 区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	無機物質 化学特論	1・ 2・3 前		2		1						
	物理化学 特論	1・ 2・3 後		2			1					
	ゲノム生 物学特論	1・ 2・3 後		2			1					
科 専 門 上 級	基盤理工 学特論	1・ 2・3 前	2			31	29		4			



【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2		1						
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2		1						
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2		1	0					
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1					
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	大学院講義第二	1~3通	4			30	30		5			
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2		1	0					兼6
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼8
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1				1				兼2
	IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院基礎教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2								兼1
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2								
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								兼1
	科学技術の歴史	1・2・3後		2			1					
	現代社会と倫理	1・2・3後		2			0					兼1
	環太平洋圏の社会と文化	1・2・3後		2		1						兼15
	幾何学特論	1・2・3後		2		1						
	解析学特論	1・2・3後(隔年開講)		2			1	0				
	代数学特論	1・2・3後(隔年開講)		2				1				
教育学特論	1・2・3後		2		1							
大学院実践教育科目	大学院講義第二	1~3通	4			31	29		3			
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2		1	0					兼4
	知的財産権特論	1・2・3後		2		1						兼7
	先端技術開発特論	1・2・3後		2		1						兼15
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		2	2					
	経営実践特論	1・2・3前		1					1			兼2
	IT最前線	1・2・3後		2		1						兼1
データサイエンスディスト特論	1・2・3後		2			1						
データアントレプレナー実践論	1・2・3後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		0	2					
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		0	2					
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		0	2					
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		0	2					
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	環境材料学特論	1・2・3前		2		1						
	ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2			2					
	光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
	ナノエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1						
	超伝導デバイス特論	1・2・3前		2		1						
	計算物理学特論	1・2・3後		2			2					
	集積回路設計学特論	1・2・3後		2			1					
	光通信デバイス特論	1・2・3後		2		1						
固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	オープンイノベーションスクールⅢ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅣ	1・2・3前		1		2	1					
	オープンイノベーションスクールⅤ	1・2・3前		1		2	1					
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2		0	2					
	大学院インターンシップ(海外)	1・2・3前		2		0	2					
	大学院インターンシップ(長期)	1・2・3前		4		0	2					
	大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2・3前		4		0	2					
	大学院海外語学研修Ⅰ	1・2・3前		1			1					
	大学院海外語学研修Ⅱ	1・2・3前		2			1					
大学院専門教育科目	専門科目Ⅱ											
	環境材料学特論	1・2・3前		2		1						
	ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2			2					
	光通信システム特論	1・2・3後		2		1						
	ナノエレクトロニクス特論	1・2・3前		2		1						
	超伝導デバイス特論	1・2・3前		2		1						
	計算物理学特論	1・2・3後		2			1	1				
	集積回路設計学特論	1・2・3後		2			1	0				
	光通信デバイス特論	1・2・3後		2		1						
固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	光計測特論	1・2・3後		2		1							
	情報光工学特論	1・2・3前		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	物理工学特論	1・2・3前		2								兼1	
	固体照明工学特論	1・2・3後		2			1						
	量子情報光学特論	1・2・3前		2			2						
	低温量子物性工学特論	1・2・3前		2		1							
	固体量子工学特論	1・2・3後		2			1						
	ナノトライボロジー特論	1・2・3後		2		1							
	統計物理工学特論	1・2・3前		2		1							
	現代レーザー分光学特論	1・2・3前		2		1	1						
	原子光工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	電子物性特論	1・2・3後		2			1						
	X線結晶学特論	1・2・3後		2			1						
	固体物性化学特論	1・2・3前		2		1							
	化学反応特論	1・2・3後		2			1						
	生体情報システム学特論	1・2・3後		2		1							
	化学生命工学特論	1・2・3前		2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	光計測特論	1・2・3後		2		1							
	情報光工学特論	1・2・3前		2			1						
	生体計測工学特論	1・2・3前		2			2	0					
	物理工学特論	1・2・3前		2								兼1	
	固体照明工学特論	1・2・3後		2			1	0					
	量子情報光学特論	1・2・3前		2			2						
	低温量子物性工学特論	1・2・3前		2		1							
	固体量子工学特論	1・2・3後		2			1						
	ナノトライボロジー特論	1・2・3後		2		1							
	統計物理工学特論	1・2・3前		2		1							
	現代レーザー分光学特論	1・2・3前		2		1	1						
	原子光工学特論	1・2・3前		2		1	1						
	凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2		1	1						
	電子物性特論	1・2・3後		2			1						
	X線結晶学特論	1・2・3後		2			1						
	固体物性化学特論	1・2・3前		2		1							
	化学反応特論	1・2・3後		2			1						
	生体情報システム学特論	1・2・3後		2		1							
	化学生命工学特論	1・2・3前		2								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	無機物質化学特論	1・2・3前		2		1						
	物理化学特論	1・2・3後		2			1					
	ゲノム生物学特論	1・2・3後		2			1					
科専門上級	基盤理工学特論	1・2・3前	2			30	30		5			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	無機物質化学特論	1・2・3前		2		1						
	物理化学特論	1・2・3後		2			1					
	ゲノム生物学特論	1・2・3後		2			1					
科専門上級	基盤理工学特論	1・2・3前	2			31	29		3			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「環太平洋圏の社会と文化」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「解析学特論」：バランスのとれた学習機会提供のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。教員の昇任に伴い、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「代数学特論」：バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3後（隔年開講）」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授31、准教授28」から「教授30、准教授30、助教5」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、兼任教員6」に変更。
- ・「知的財産権特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員8」に変更。
- ・「先端技術開発特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員15」に変更。
- ・「経営実践特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「助教1」から「助教1、兼任教員2」に変更。
- ・「IT最前線」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任教員1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅢ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅣ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「オープンイノベーションスクールⅤ」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・「大学院インターンシップ」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（長期）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「大学院インターンシップ（海外・長期）」：専任教授の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授2」に変更。
- ・「化学生命工学特論」：教育内容充実のため、専任教員等の配置を「兼任教員1」から「兼任教員2」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授31、准教授28」から「教授30、准教授30、助教5」に変更。

【平成29年度】

- ・「現代社会と倫理」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授30、准教授30、助教5」から「教授31、准教授29、助教3」に変更。
- ・「ベンチャービジネス特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員6」から「教授1、兼任教員4」に変更。
- ・「知的財産権特論」：兼任教員の負担軽減のため、専任教員等の配置を「教授1、兼任教員8」から「教授1、兼任教員7」に変更。
- ・「データサイエンティスト特論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「データアントプレナー実践論」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院海外語学研修Ⅰ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「大学院海外語学研修Ⅱ」：教育内容充実のため、授業科目を追加。
- ・「計算物理学特論」：担当教員の昇任のため、専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・「集積回路設計学特論」：担当教員の昇任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「生体計測工学特論」：担当教員の昇任のため、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・「固体照明工学特論」：担当教員の昇任のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「固体量子工学特論」：教員の負担軽減のため、配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・「基盤理工学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授30、准教授30、助教5」から「教授31、准教授29、助教3」に変更。

【平成30年度】

- ・「国際社会の政治・経済」：教員辞任のため、専任教員等の配置を「教授1」から「兼任教員1」に変更。
- ・「大学院輪講第二」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授31、准教授29、助教3」から「教授30、准教授29、助教4」に変更。
- ・「経営実践特論」：担当教員昇任のため、専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1、兼任教員2」に変更。
- ・「固体照明工学特論」：教員の負担軽減のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「固体量子工学特論」：教員の負担軽減のため、配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「基盤理工学特論」：大学院担当資格取得等に伴い、専任教員等の配置を「教授31、准教授29、助教3」から「教授30、准教授29、助教4」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2	54	0	56	2	58	0	60	
	科目	科目	科目		科目	科目	科目	
				[ 0 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 4 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	該当なし	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{56} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地（校舎 から2km）			
	校 舎 敷 地	115,433 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,433 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	38,187 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	38,187 m <sup>2</sup>				
	小 計	153,620 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	153,620 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	34,685 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	34,685 m <sup>2</sup>				
	合 計	188,305 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	188,305 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	90,163 m <sup>2</sup> ( 90,163 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		0 室	9 室	85 室	0 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		情報理工学研究科 基盤理工学専攻（博士後期課程）			80 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体  受入・廃棄等に伴う変更 (30)	
	情報理工学域 I類（情報系）	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 ( 0 )	0 ( 0 )		
	計	306,952 [106,618] <del>315,018 [109,394]</del> (306,952 [106,618]) <del>(315,018 [109,394])</del>	8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del> 8,894 [6,092] <del>8,887 [6,091]</del>	3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del> 3,900 [3,890] <del>3,899 [3,899]</del>	2,677 <del>2,896</del> (2,677) <del>-(2,896)</del>	0 ( 0 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
		7,323 m <sup>2</sup>		669	368,000				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,077 m <sup>2</sup>		多摩川運動場（陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート4面、アーチェリー場）、プール、屋外競技場（弓道場、テニスコート7面）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
情報理工学域									
<u>I類（情報系）</u>	4	210	3年次9	858	学士（工学）	1.04	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	一般入試（前期日程）では学域全体の大括り入試を採用しており、入学定員超過率は類別の状況を集計することができないため、I類、II類、III類をまとめた状況を記載している。
<u>II類（融合系）</u>	4	245	3年次10	1000	学士（工学）	1.04	平成28年度	同上	
<u>III類（理工系）</u>	4	235	3年次10	960	学士（工学）	1.04	平成28年度	同上	
先端工学基礎課程（夜間主）	4	30	3年次3	126	学士（工学）	1.00	平成28年度	同上	
情報理工学部									
総合情報学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	平成28年学生募集停止
情報・通信工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先端工学基礎課程（夜間主）	4	-	-	-	学士（工学）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報理工学研究科（博士前期課程）									
情報学専攻	2	110	-	220	修士（工学）（理学）（学術）	1.16	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番地1号	
情報・ネットワーク工学専攻	2	150	-	300	修士（工学）（理学）（学術）	1.14	平成28年度	同上	
機械知能システム学専攻	2	105	-	210	修士（工学）（理学）（学術）	1.06	平成28年度	同上	
基盤理工学専攻	2	135	-	270	修士（工学）（理学）（学術）	0.99	平成28年度	同上	
総合情報学専攻	2	-	-	-	修士（工学）（理学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
情報・通信工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）（理学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
知能機械工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）（理学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止
先進理工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）（理学）（学術）	-	平成22年度	同上	平成28年学生募集停止



情報理工学研究科 (博士後期課程)												
情報学専攻	3	13	-	39	博士 (工学)(理学)(学術)	1.17	平成28年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				
情報・ネットワーク 工学専攻	3	18	-	54	博士 (工学)(理学)(学術)	0.70	平成28年度	同上				
機械知能システム学 専攻	3	12	-	36	博士 (工学)(理学)(学術)	1.02	平成28年度	同上				
基盤理工学専攻	3	16	-	48	博士 (工学)(理学)(学術)	0.66	平成28年度	同上				
総合情報学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報・通信工学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
知能機械工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
先進理工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(理学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士前期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	2	-	-	-	修士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム学研究科 (博士後期課程)												
情報メディアシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	東京都調布市調布ヶ丘1 丁目5番地1号				平成28年学生募集 停止
社会知能情報学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報ネットワークシステム学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止
情報システム基盤学 専攻	3	-	-	-	博士 (工学)(学術)	-	平成22年度	同上				平成28年学生募集 停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<情報理工学研究科 基盤理工学専攻(博士後期課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			【平成31年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	阿部 浩二 (59) <平成28年4月> 環太平洋圏の社会と文化 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	阿部 浩二 (59) <平成28年4月> 環太平洋圏の社会と文化 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	阿部 浩二 (60) <平成28年4月> 環太平洋圏の社会と文化 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	阿部 浩二 (61) <平成28年4月> 環太平洋圏の社会と文化 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	石田 尚行 (52) <平成28年4月> 固体物性化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	石田 尚行 (52) <平成28年4月> 固体物性化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	石田 尚行 (53) <平成28年4月> 固体物性化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	石田 尚行 (54) <平成28年4月> 固体物性化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	一色 秀夫 (54) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	一色 秀夫 (54) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	一色 秀夫 (55) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	一色 秀夫 (56) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	上野 芳康 (54) <平成28年4月> 光通信デバイス特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	上野 芳康 (54) <平成28年4月> 光通信デバイス特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	上野 芳康 (55) <平成28年4月> 光通信デバイス特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	上野 芳康 (56) <平成28年4月> 光通信デバイス特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	奥野 剛史 (49) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	奥野 剛史 (49) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	奥野 剛史 (50) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	奥野 剛史 (51) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	尾関 之康 (54) <平成28年4月> 統計物理学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	尾関 之康 (54) <平成28年4月> 統計物理学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	尾関 之康 (55) <平成28年4月> 統計物理学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	尾関 之康 (56) <平成28年4月> 統計物理学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	加 固 昌 寛 (53) <平成28年4月> 無機物質化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	加 固 昌 寛 (53) <平成28年4月> 無機物質化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	加 固 昌 寛 (54) <平成28年4月> 無機物質化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	加 固 昌 寛 (55) <平成28年4月> 無機物質化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	樫 森 与 志 喜 (59) <平成28年4月> 生体情報システム学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	樫 森 与 志 喜 (59) <平成28年4月> 生体情報システム学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	樫 森 与 志 喜 (60) <平成28年4月> 生体情報システム学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	樫 森 与 志 喜 (61) <平成28年4月> 生体情報システム学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	桂 川 眞 幸 (53) <平成28年4月> 原子光工学特論 オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	桂 川 眞 幸 (53) <平成28年4月> 原子光工学特論 オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	桂 川 眞 幸 (54) <平成28年4月> 原子光工学特論 オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	桂 川 眞 幸 (55) <平成28年4月> 原子光工学特論 オープンイノベーションスクールⅢ オープンイノベーションスクールⅣ オープンイノベーションスクールⅤ 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	狩 野 豊 (46) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	狩 野 豊 (46) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	狩 野 豊 (47) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	狩 野 豊 (48) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	小 林 義 男 (56) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	小 林 義 男 (56) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	小 林 義 男 (57) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	小 林 義 男 (58) <平成28年4月> 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	斎 藤 弘 樹 (44) <平成28年4月> 凝縮体量子工学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	斎 藤 弘 樹 (44) <平成28年4月> 凝縮体量子工学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	斎 藤 弘 樹 (45) <平成28年4月> 凝縮体量子工学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	斎 藤 弘 樹 (46) <平成28年4月> 凝縮体量子工学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			
専	教授	佐々木 成 朗 (54) <平成28年4月> ナノライボロジー特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	佐々木 成 朗 (54) <平成28年4月> ナノライボロジー特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	佐々木 成 朗 (55) <平成28年4月> ナノライボロジー特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論	専	教授	佐々木 成 朗 (56) <平成28年4月> ナノライボロジー特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	准教授	森永実 (50) ＜平成28年4月＞	専	准教授	森永実 (50) ＜平成28年4月＞	専	准教授	森永実 (51) ＜平成28年4月＞	専	准教授	森永実 (52) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			現代レーザー分光光学特論			現代レーザー分光光学特論
専	准教授	安井正憲 (55) ＜平成28年4月＞	専	准教授	安井正憲 (55) ＜平成28年4月＞	専	准教授	安井正憲 (56) ＜平成28年4月＞	専	准教授	安井正憲 (57) ＜平成28年4月＞
		X線結晶学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			X線結晶学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			X線結晶学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			X線結晶学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	准教授	山北佳宏 (48) ＜平成28年4月＞	専	准教授	山北佳宏 (48) ＜平成28年4月＞	専	准教授	山北佳宏 (49) ＜平成28年4月＞	専	准教授	山北佳宏 (50) ＜平成28年4月＞
		物理化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			物理化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			物理化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			物理化学特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	准教授	渡邊恵理子 (38) ＜平成28年4月＞	専	准教授	渡邊恵理子 (38) ＜平成28年4月＞	専	准教授	渡邊恵理子 (39) ＜平成28年4月＞	専	准教授	渡邊恵理子 (40) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	助教	谷口淳子 (39) ＜平成28年4月＞	専	助教	谷口淳子 (39) ＜平成28年4月＞	専	助教	谷口淳子 (40) ＜平成28年4月＞	専	助教	谷口淳子 (41) ＜平成28年4月＞
											大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	助教	戸倉川正樹 (35) ＜平成28年4月＞	専	助教	戸倉川正樹 (35) ＜平成28年4月＞	専	助教	戸倉川正樹 (36) ＜平成28年4月＞	専	助教	戸倉川正樹 (37) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論
									専	助教	平田修造 (39) ＜平成30年1月＞
											大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	助教	Vohra Varun (32) ＜平成28年4月＞	専	助教	Vohra Varun (32) ＜平成28年4月＞	専	助教	Vohra Varun (33) ＜平成28年4月＞	専	助教	Vohra Varun (34) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論
専	助教	牧昌次郎 (49) ＜平成28年4月＞	専	助教	牧昌次郎 (49) ＜平成28年4月＞	専	助教	牧昌次郎 (50) ＜平成28年4月＞	専	准教授	牧昌次郎 (51) ＜平成28年4月＞
		経営実践特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			経営実践特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			経営実践特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論			経営実践特論 大学院輪講第二 基盤理工学特論
兼任	教授	岩澤康裕 (70) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	岩澤康裕 (70) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	岩澤康裕 (71) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	岩澤康裕 (72) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論
兼任	教授	白田耕蔵 (69) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	白田耕蔵 (69) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	白田耕蔵 (70) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	白田耕蔵 (71) ＜平成28年4月＞
		大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論			大学院輪講第二 基盤理工学特論
兼任	教授	田野俊一 (57) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	田野俊一 (57) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	田野俊一 (58) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	田野俊一 (59) ＜平成28年4月＞
		IT最前線			IT最前線			IT最前線			IT最前線
兼任	教授	山田裕一 (47) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	山田裕一 (47) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	山田裕一 (48) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	山田裕一 (49) ＜平成28年4月＞
		幾何学特論			幾何学特論			幾何学特論			幾何学特論
兼任	准教授	榎本直也 (35) ＜平成28年4月＞	兼任	准教授	榎本直也 (35) ＜平成28年4月＞	兼任	准教授	榎本直也 (36) ＜平成28年4月＞	兼任	准教授	榎本直也 (37) ＜平成28年4月＞
		代数学特論			代数学特論			代数学特論			代数学特論
兼任	教授	久藤衛介 (43) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	久藤衛介 (43) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	久藤衛介 (44) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	久藤衛介 (45) ＜平成28年4月＞
		解析学特論			解析学特論			解析学特論			解析学特論
兼任	教授	來住直人 (56) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	來住直人 (56) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	來住直人 (57) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	來住直人 (58) ＜平成28年4月＞
		光通信システム特論			光通信システム特論			光通信システム特論			光通信システム特論
兼任	准教授	範公可 (51) ＜平成28年4月＞	兼任	准教授	範公可 (51) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	範公可 (52) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	範公可 (53) ＜平成28年4月＞
		集積回路設計学特論			集積回路設計学特論			集積回路設計学特論			集積回路設計学特論
兼任	教授	内田和男 (56) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	内田和男 (56) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	内田和男 (57) ＜平成28年4月＞	兼任	教授	内田和男 (58) ＜平成28年4月＞
		固体照明工学特論			固体照明工学特論			固体照明工学特論			固体照明工学特論
									兼任	教授	内田雅文 (53) ＜平成28年4月＞
											先端技術開発特論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	尾原和貴 (45) <平成28年4月>	兼任	講師	尾原和貴 (45) <平成28年4月>	兼任	講師	尾原和貴 (46) <平成28年4月>	兼任	講師	尾原和貴 (47) <平成28年4月>	兼任	講師	尾原和貴 (45) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
兼任	講師	加藤浩一郎 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	加藤浩一郎 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	加藤浩一郎 (51) <平成28年4月>	兼任	講師	加藤浩一郎 (52) <平成28年4月>	兼任	講師	加藤浩一郎 (50) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
兼任	講師	岡村信一 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村信一 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村信一 (58) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村信一 (59) <平成28年4月>	兼任	講師	岡村信一 ( ) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
兼任	講師	劉 昕 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	劉 昕 (50) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
兼任	講師	香島拓也 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	香島拓也 ( ) <平成28年4月>	兼任	講師	香島拓也 (49) <平成28年4月>	兼任	講師	香島拓也 (50) <平成28年4月>	兼任	講師	香島拓也 (50) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
兼任	講師	戸田恒夫 (65) <平成28年4月>	兼任	講師	戸田恒夫 (65) <平成28年4月>	兼任	講師	戸田恒夫 (66) <平成28年4月>	兼任	講師	戸田恒夫 (66) <平成28年4月>	兼任	講師	戸田恒夫 (65) <平成28年4月>
		知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論			知的財産論特論
非常勤	講師	Krivobok Vladimir (37) <平成28年4月>	非常勤	講師	Krivobok Vladimir (37) <平成28年4月>	非常勤	講師	Krivobok Vladimir (38) <平成28年4月>	非常勤	講師	Krivobok Vladimir (38) <平成28年4月>	非常勤	講師	Krivobok Vladimir (37) <平成28年4月>
		物理工学特論			物理工学特論			物理工学特論			物理工学特論			物理工学特論
非常勤	講師	星野学 (36) <平成28年4月>	非常勤	講師	星野学 (36) <平成28年4月>	非常勤	講師	星野学 (37) <平成28年4月>	非常勤	講師	星野学 (37) <平成28年4月>	非常勤	講師	星野学 (36) <平成28年4月>
		化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論
非常勤	講師	加治大哉 (42) <平成28年4月>	非常勤	講師	加治大哉 (42) <平成28年4月>	非常勤	講師	加治大哉 (43) <平成28年4月>	非常勤	講師	加治大哉 (43) <平成28年4月>	非常勤	講師	加治大哉 (42) <平成28年4月>
		化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論			化学生命工学特論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

- ・田中勝己教授辞任により、兼担講師に変更。
- ・向山敬准教授辞任により、岸本哲夫准教授に変更。

【平成30年度】

- ・平成30年1月平田修造助教就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10	7	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
26	29	0	6	61	30	31	0	6	67	30	31	0	6	67
(32)	(30)	(0)	(3)	(65)						[4]	[2]	[0]	[0]	[6]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
57	4	0			63	4	0			63	4	0		
(63)	(1)	(1)								[6]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{67}{61} = \boxed{109.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{67} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	田中 勝己	選択	環境材料科学特論	②	役員就任に伴い、H29.3.31付け退職のため辞任 (29)	
			必修	大学院輪講第二	①		
			必修	基盤理工学特論	①		
1	准教授	向山 敬	選択	凝固体量子工学特論	①	H29.3.31付け退職のため辞任 (29)	
			必修	大学院輪講第二	①		
			必修	情報学特論	①		
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{61} = 1.63 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区分	該当なし	履行状況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



- ・ 6月24日：学部技術英語FD研修会  
参加者 14名
- ・ 7月25日：ハラスメント防止研修  
参加者 50名
- ・ 9月5日：実験実習研修会  
参加者 44名
- ・ 9月19日：第2回TA講習会  
参加者 54名（学生48名、教員 6名）
- ・ 9月28日：コーチングから学ぶコミュニケーションスキル  
参加者 41名
- ・ 10月30日：第1回FD講演会「大学の国際連携の動向」ーグローバルな視点での大学教育の連携、展開ー  
参加者 44名
- ・ 11月8日：障害学生支援に係るFD研修  
参加者 52名
- ・ 11月17日：第2回FD講演会「ICT教材開発とその運用」  
参加者 34名
- ・ 12月12日：LGBTを理解するための研修  
参加者 68名
- ・ 1月31日：役員情報セキュリティ研修  
参加者 15名
- ・ 2月19日：情報セキュリティ研修  
参加者 82名
- ・ 2月21日：初等・中等教育の現状と本学における情報教育の取り組み  
参加者201名
- ・ 3月7日：メンタルヘルス懇談会・障害学生支援に係るFD研修  
参加者 77名
- ・ 3月8日：学生とのコミュニケーションについて考える  
参加者 55名
- ・ 3月15日：キャリア教育部会報告会  
参加者 23名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育改善調査の実施及び各種研修プログラムの提供について、第3期中期目標・中期計画を踏まえた道筋の検討を進めた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期及び後学期の終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を教員にフィードバックすることにより、自主的な授業の改善を促しているほか、他の教員の参考となるように、アンケートの総合評価が高かった科目の中で科目区分（講義、実験、体育、大学院）別に上位10%のものについて、大学教育センターの学内専用ウェブサイトで公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に基づき、平成28年4月1日に開設した。「広い視野と倫理観を持ち、グローバル社会で活躍できる確かな専門知識と実践的な応用力を持ち、リーダーとして企画・開発をも担える高度専門技術者を育成する」という設置の趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究体制のもと、現在まで順調に進んでいる。引き続き、当該趣旨・目的に沿った教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年7月公開予定

b 公表方法

「自己点検・評価報告書（年度計画の実施状況）」を大学ホームページで公表予定（平成30年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成33（2021）年に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ・  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月30日 )

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。